京城日報 二十七日夕刊
發行所 京城日報社 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

◎米國愈々軍事費貸附

華盛頓來電に據れば大藏卿マカブウ氏は英國スプリングラス氏に聯合國への第一次公債二億弗に對する國庫支拂命令を交附したり右貸附金は軍事費七十億弗支出法に依るものなり(紐育電報)

◎ヘーグ元帥軍の激戰

ヘイグ將軍公報に據れば二十三日の戰鬪は最も激烈にしてクロアゼル、ガブルイユの戰線に達し獨軍は七個師團を算し戰術上重要なる地點は彼我の手に轉輾せること一再に止まらずされど我軍は全線に亙り進軍を繼續しつゝあり(倫敦電報)

◎敵機四十臺の墜落

—壯烈なる空中戰—英軍の偉功—

獨軍は今や英佛軍の新攻勢の範圍内に在る獨軍交通線の全組織が危險に瀕しつゝあることを明白に了知するに至れり二十三日以來彼等は砲彈を極度に使用し飛行隊は密集隊形にて逆襲を企てたるも英軍砲兵の頑強なる抵抗に遭ひて擊退せられたりヴアンドイユに於ける我軍の偉功は二十三日の空中戰に敵航空機四十臺を墜落せしめたることにして吾は僅かに二隻を失ひたるのみなり(路透電報)

◎先週擊沈の汽船數

英國海軍省公報=去週英國諸港に到着の汽船總數は二千五百八十五隻同上出帆せるもの二千六百二十一隻なるが千六百噸以上の汽船にして擊沈されたるもの四十隻同以下の汽船十五隻あり(倫敦電報)

◎支那對獨宣戰可決

北京軍事會議は段總理より政府の政策を聽取したる後決議文を通過し滿場一致を以て獨逸に對する宣戰布告を可決せり會議に列したる各省代表者は二十五名にして中十五名は都督、十四名は督都代理なり(北京電報)

◎樞府顧問親任

天皇陛下には二十七日午前十時卅分宮中御座所に於て寺内首相、鷹司侍從長侍立の上左の通り樞密顧問官二名の親任式を行はせられたり(東京特電)

任樞密顧問官

陸軍大將正二位勳一等功一級 伯爵 黒木爲楨

海軍中將正三位勳一等 男爵 有地品之允

◎内債發行準備

帝國政府は鐵道建設改良費として二百萬圓預金部借入金返償資金として二百萬圓合計四百萬圓の内債を發行すべく日本銀行外有力なる二三銀行の代表者と協議を遂げけたり(東京特電)

◎試驗規定發布

二十七日文部省令にて商業學校大學豫科入學者選拔試驗規程同無試驗檢定試驗規程本年度募集生徒數に關する細目を公布即日施行したり(東京特電)

◎幼年校條令改訂

二十七日軍令を以て陸軍中央及び地方幼年學校條令を改訂し新たに訓育部長を置き教務の統一を圖る事となせり(東京特電)

◎鐵道債發行規程

二十七日大藏省令を以て鐵道債券四千萬圓發行規程四箇條を公布し即日施行せり(東京特電)

◎兩氏憲政入黨

新代議士上村耕作(奈良市、准「憲」)井島茂作(三重縣四日市、准「憲」)の兩氏は憲政會に投じたり(東京特電)

◎石塚總裁歸鮮

石塚東拓總裁は二十七日朝入港の連絡船新羅丸にて釜山に上陸し午前十時三十分發の列車にて歸京の途に就けり(釜山特電)

◎鵜澤博士歸東

法學博士鵜澤總明氏は二十六日夜出港の高麗丸にて歸東の途に就けり(釜山特電)

◎總督淸津視察

長谷川總督一行搭乘の弘濟丸は二十七日未明淸津に入港、一行は午前六時四十分官民多數の出迎を受けて上陸旅館光淸館に入り朝食を喫したる上九時三十分府廳に到り各官衙長官民間代表者に對し接見式を行ひ後府事務を視察、十時三十分視閲視察を遂げ再び光淸館に入りて午餐を取り午後一時小學校を視察したるが二時三十分官民の見送りを受け鏡城に向へり(淸津特電)

◎總督東上

北鮮地方巡察中なる長谷川總督は歸京後四五日間休養の上鮮内狀況伏奏及び中央政府に對する協議打合せ等の爲め東上す可く今回の出張期間は約一箇月の由出發期は多分五月五六日の交なる可し

◎總監邸午餐會

山縣政務總監は既記の如く二十七日正午より當地留錫中なる東本願寺法主大谷光演師をはじめ南條村上兩博士、大幸京城輪番、沼、沼波兩錄事を官邸に招待午餐會を開けり總督府側よりは關屋學務局長、荻田總務局長、澤田内務部第一課長、遠藤秘書課長渡邊屬等列席せり

◎長官會議休會

二十七日は定例長官會議日なりしも當日は總督府の都合により休會となりたり

◎臨時研修會

總督府にては二十七日午後四時より總督府第二會議室に於て臨時研修會を開き入京中なる村上文學博士の講演ありたり

◎五年は未曾有の豐作なり

實收高少くとも一千二百五十萬石を下らず 大正三年に比するも三十五萬石の增收なり

大正五年の米作豫想高は大體觀りを得たるも尚ほ二三の地方に誤報を發見し目下之が訂正中なれば其の完成次第發表を見る可きが昨年は稀有の豐作にして實收高少くとも一千二百五十萬石を下らず之れを昨秋の豫想高千二百四十萬石に比するも尚ほ十萬餘石の增加を示し又た併合以來最も豐作なりと稱せられたる大正三年の實收高一千二百十五萬餘石に較ぶるに實に三十五萬石の增收を見たり

◎持地局長出張

土木局長持地六三郎氏は二十六日附元山に出張を命ぜられたり這は元山築港狀況視察の爲めにて不日出發の筈なり

◎金澤博士渡鮮

總督府囑託文學博士金澤庄三郎氏は二十八日京都出發三十日入京の豫定なり今回の渡鮮は五月一日より一ケ月間總督府に開催の普通學校内地人教員講習會に於ける朝鮮語教授の爲めなり

◎法曹界名士歸東

入京中なりし花井、勝本、小川、大井各辯護士は何れも二十八日午前南大門驛發の急行列車にて歸東の途に就きたり

◎朝郵前季成績

配當總て一割

朝鮮郵船株式會社第十四回定時株主總會は二十八日同社に於て開催せらるべく今大正五年十月一日より六年三月卅一日に至る第五期後半年度の業績を同社當局より聞くに左の如し

▲定期航路 當半年度末に於ける定期航路は命令私營併せて十五線所有汽船二十九艘九千四百四十六噸にして當半年度間の航海回數九百五十二回、航海運數延長三十六萬七百十四海里其輸送貨物三十萬一千餘噸船客十一萬七千餘人とす

▲財界の大勢と朝郵 本季末を以て創業來方に五箇年を經過し社業の進步も幸に順況にして半島沿岸運輸の便大に加はりたるは欣幸に堪へざるなり而も尚ほ其完備を期すると共に漸次近海航路の經營に入らんとす既に仁川北淸線木浦若松線元山浦鹽斯徳線等の設け其他諸線の經營調査中に屬するもの少なしとせず蓋し晩近朝鮮近海貿易の發達顯著にして船腹の之に伴はざるものあり若し夫れ客年來産業上金融上朝野の大問題たりし朝鮮各地の滯貨に至りては從來常方面に出沒せし社外船の減退其一原因たらざるべからず這般社外船は當方面の繁忙剏若くは内地の閑散期に來襲し一朝比較的利の在る方面生ずるや直に之に趨るを例とし當今時局のため有利の航路多きに及び當方面に殆んど其隻影を看ざるは怪むに足らざるなり其偶々來襲し積荷運賃に於て横暴を極めんと欲するも得べからざる所以は當會社の運航平時に異ならざるものあればなり茲に於て當會社の責務益重きを感じ上下相警め努めて社業の基礎を堅實にし穩健なる發達を試みんとす

▲各航路の狀況 今季の營業成績を概言するに米豆の豐穰と市價の昂騰魚介の豐漁其他一般經濟界の好調社外船の減退等諸因相伴ふて荷客の異動甚しく夏秋の交には虎疫の流行冬期には稀有の嚴寒天候不良のため障礙尠からざりしに拘らず季を通じて良好なる成績を擧ぐるを得たり以下各線別に之を述ぶべし

(一)近海航路

元山浦鹽斯徳線(命令) [illegible]

仁川芝罘線(私營) [illegible]

(二)東沿岸各航路

元山城津線(命令)釜山浦項線(命令) [illegible]

(三)南沿岸各航路

[illegible]

(四)西沿岸各航路

木浦若松線(私營)木浦多島海線(命令)仁川海州線(命令) [illegible]

▲決算と分配 以上之を要するに當會社本季に於ける營業成績は依然好況にして修繕費其他一般船費の暴騰ありたるに拘らず前季に劣らざる利益を收むるを得たるも畢竟時局の影響に因る一時の特殊狀態なるを以て他日の反動に備ふる必要上此際一層會社の基礎を鞏固ならしめんとし船價償却金別途積立金等を增加し餘力を以て職員臨時特別手當金株主臨時特別配當金とを計上せり乃ち總收入金百一萬九千四百三十四圓七十三錢總支出金六十五萬一千十三圓五十一錢差引金三十六萬八千四百二十一圓二十二錢にして此內より船價償却金十六萬三千五百五十四圓二十四錢船舶大修繕積立金三萬六千三百三十八圓八十四錢建物原價償却金一千八百八十九圓六十錢を控除し益金十六萬六千六百三十八圓五十四錢を得たり之に前季繰越金四萬一千五百八十圓七十六錢を加へたる金二十萬八千二百十九圓三十錢の內金一萬圓を商法に據る準備積立金とし金六萬圓を別途積立金とし金八千五百圓を役員賞與金とし金九千三百六十五圓を海陸職員臨時特別手當金とし金五萬二千五百圓を株主配當金(一株に付金八十七錢五厘即ち年七朱に當る)金二萬二千五百圓を株主臨時特別配當金(一株に付金三十七錢五厘即ち年三朱に當る)とし殘金四萬五千三百五十四圓三十錢を後季繰越金となすを相當と認め茲に利益金分配案を提出するに至れり

◎鮮銀店長會議(第三日)

朝鮮銀行支店出張所長會議第三日は廿七日午前九時より同行會議室に開催美濃部總裁以下出席者前日の如く直ちに日程に入り午前は昨日に引續き内地支店出張所長の管內經濟狀況報告あり午後は本店提出の諮問事項に對する支店出張所長の答申ありて午後五時閉會したり

◎府稅務課の廢休

本年度第一期京城府市街地稅の納入成績甚だ良好ならず而かも餘日無ければ當局にては特に土曜日は午後二時迄日曜(二十九日)は午前中廢休して納稅者の便宜を圖る事と成りたれば至急府金庫及び各出張所に就き納稅せらるべしと因に本年度は納期限を經過せば直に督促狀を發し尚ほ納入を怠る者に對しては直ちに財產差押處分に出で動產の如きは本人に保管を許す等の事無く直ちに引揚ぐべしと云へり

◎倭倶家族會

倭城臺倶樂部にては二十六日午後四時より家族會を開き總督府裏に於て觀櫻宴を張れるが會員の餘興數番あり盛況を呈せり

【仁川】

▲仁川府酒稅地稅完納 酒稅は稅令實施後の初期なるを以て納期内完納を氣遣ひ居りしに客月來市況稍々活氣を呈し金融十分なりし結果本月十四日に全部完納し市街地稅及び府稅附加稅等は本月十七日に是又全部完納したり因に酒稅千六百八圓此納稅人員百卅二人市街地稅一萬二百五十五圓此納稅人員千六百七十一人市街地稅附加稅五千二百五十一圓地分賦地稅附加稅五百二十五圓合計一萬七千六百三十九圓也と

▲基督教青年會總會 廿八日午後八時より同會館に於て大正六年度定時總會を開催し幹事長以下役員の總改選及大正五年度會計報告大正六年度豫算會議を開く由會員一同の出席を希望すと

▲穀物の京城輸送 地方出荷殆んど杜絶したる爲め京城に於ける精米筋は原料薄の爲め仁川より供給を仰ぎ二十五日より二十七日正午に至る仁川驛發送穀は實に三百叺に達し相場又約五十錢高の昂騰を告げ仁川上格十三圓五十錢の高値を見るに至りたり(仁川)

【忠州】

▲會議員當選 忠州學校組合會議員補缺選擧は二十日午前八時より組合事務所に於て擧行川本時之助、栗田英治、加藤健三郎の三氏當選

▲地主大會 忠州郡地主大會は二十三日午後一時郡會議室に於て擧行柳道長官、尹郡守の訓示及び宮本技師の農事改良事項に關する有益なる講話あり午後四時散會

▲警務部長檢閲 前田忠北警務部長は檢閲の爲二十三日來忠二十四日より忠州憲兵分隊管下分遣所、派遣所、出張所を檢閲の筈

【群山】

▲府廳員遠足 群山府廳員は二十二日の日曜日を卜つて一番列車にて黄登內金水利組合水源池附近に遠足し水淸き池畔の小丘に陣取つて一日の行樂を遣にし午後五時二十分著列車にて歸郡したり

▲春季大祭執行 群山神社にては來る五月一日の開港記念日當日と翌二日の兩日間盛大なる春季大祭を執行する由にて當日境內にては餘興として素人相撲二〇加擊劍柔道生花等ありて終日煙花を打揚げ最も盛大に祭典を擧行すべく神社神官氏子總代は目下準備に忙殺され居れり

▲熊本バッテン會 群山熊本縣人にて成る拔天會は來る廿九日の日曜日を期し群山公園に於て各自辨當携帶にて春季大會を開く由にて當日は會長宮崎佳太郎氏より別にバッテン式の御馳走を饗するとの事なり

▲琵琶會盛況 群山琵琶會主催宮阪旭春師の旭琵琶演奏大會は二十一、二十二日の兩日間群山明治座に於て開催され兩日共滿員の盛況を呈し同師獨創の琵琶劇の餘興は登場子弟演者の技倆と相俟つて觀客に非常の感動を與へたり

【鎭海】

▲鎭海漁業盛況 鎭海行政區域に於ける朝鮮水産組合經營の漁浦は目下移住者戶數卅二戶人口百五十七名なりしが猶增加の傾向あり而して移住者の原籍は、大阪、愛知、福岡、德島、三重、香川、岡山の一府九縣に亙りたり漁業の主なるは延繩、鯛延繩、打瀨網、鰤網、延本釣、手繰網等にして目下追々漁季に向ふと共に活氣を帶び來れり

▲鎭海青年會 東鄕司令官の主唱にて計畫されつゝありし鎭海青年會は其後著々進行し規約の起草、發起人の顏觸も揃ひたるを以て近日發會式を擧行し諸般を催すと

▲鎭海繁榮會解散 鎭海繁榮會は其創立以來四箇年の久しき同地の爲めに報道せる通り鎭海の唯一民間機關として貢獻尠なからざりしが町總代會の成立せしに代はるべき解散するに決し此程山田殘務整理委員より各會員に通牒せり

南北滿洲

油房全盛の大連

南北滿洲視察旅行中より 西海生

▲大連の貿易は最近の年額一億六千萬圓内外で、輸出入殆んど相半ばし、滿洲總貿易額の約二分の一を占めてゐる、其の輸出の七八千萬圓中四五千萬圓の多きを算してゐるのは豆粕と豆油である。

▲大連工業界の中心 今一步進めて云へば滿洲工業界の中心が油房にある事は、右に擧げた貿易の數で分る。大連は金融並に海運の便と重要物産の取引所を有する等のため、油房の發達は年々目覺ましい、殊に近年は衰へた營口の斯業が大部分大連に移つた形があり、旁々益々隆盛を呈してゐる。加ふるに昨秋來豆油より火藥原料たるグリセリンの採取が繁忙に起因する米國の豆油需要は無限で、在連七十七の油房は其の全力を擧げ目下も操業を繼續してゐる。

銀行家の話しでは茲十箇月間に豆油の米國輸出ばかりが一千四百萬圓を超ねてゐるとのことである。唯一方豆粕の注文は需要季節でない等の爲め豆油に伴はざる嫌ひあり、最近埠頭の堆貨は九萬二千噸を超ねてゐると云ふが、然し之等は今後久しからず農繁期に入れば、内地及び南支方面に積出さるゝとの事である

▲大連現在の油房は五十七中五十六まで壓搾式乃ち豆を碎き、それを蒸して油を絞り出すのであるが、最近大連の中央試驗所でベンジン式抽出法と云ふ新らしい豆油豆粕製造の機械を發明し、滿洲工業界に一大革命を起さしめんとしてゐるベンジン式は鈴木商店で先づ之れを採用し目下試驗的に其の操業をやつてゐるが成績は概して良いらしい、今抽出、壓搾兩方法の優劣を聞いた儘に記して見る

▲ベンジン式の抽出方法は豆を先づ碎き、それにベンジンを注入し而して之れを化學的に分解して豆油を抽出するのだが、其の豆油抽出は大豆量の十七パーセント乃ち大豆百斤より十七斤の豆油を得る事が出來る、之れを壓搾法の十パーセントに比すれば七パーセントの利益がある而して豆粕は可成油分の乏しいのを良品とするから抽出法により、餘計に油を採つた油粕はそれ丈け勝つてゐる譯だ、又ベンジン式では壓搾法のやうに豆粕を圓形に固めね、之れが又バラ粕と云つて豆粕需要者は食料並に石鹸原料として其の需要に際し、碎く丈けの手數が省けるから受けは宜しいと云ふ譯だ

▲油房操業の結果は上述の如くベンジン式抽出法を有利とするが、唯其設備は壓搾法に比し、同量の大豆を用ゆるものとし機械其他の固定資本に約三倍を卸さねばならね、而して操業には多量の水を要するから、今日のやうに水に乏しい大連ではベンジン式多數の興隆は一寸困難らしい、又ベンジン式バラの豆粕はまだ操業が鈴木一箇所に留まつてゐる關係より產出多からず、取引所の建値が出來ないと云ふ不利がある

▲ベンジン式と壓搾式の利害優劣を比較すると、前述の如しだが、結局其の利はベンジンにある、唯今日俄に全部の油房がベンジン式に變じ能はぬのは、舊設備の廢棄、新機械据付に對する投下資本の關係と用水の不足問題があるからだ、唯資本問題は事業の性質と前途が有望有利であれば、それは多くの困難なくして解決するだらう、又用水問題は三四年後、大連水道の擴張完成した曉きには必ずしも不足を訴へぬ事となるだらうとの說がある、從つて今後の大連油房は工業經濟より見て壓搾法を棄て漸次ベンジン式に變ずべきものと斷じてよいらしい、唯其の變化が徐々に來り、尚ほ多少の年月を要すると云ふ事は以上の理由より爭はれない

人事消息

▲野口耕一氏(土木局元山出張所技師) 二十六日附咸南鐵原郡馬息嶺へ出張を命ぜらる

▲志越升太郎氏(總督府技師) 同日附京畿道高陽郡管内へ

▲水口隆三氏(農務課長) 同日附慶尚南北道管內へ

▲池田泰治郎氏(土木局技師) 同日附鎭川郡

▲大島良士氏(試補) 同日附馬山、釜山、大邱、慶州、群山、木浦、仁川、鎭南浦、平壤へ

▲富永文一氏(試補) 同日附忠南及慶北管內へ

散る花の下に句佛上人を迎へ申しける 鳥兎

花に何を回向遊す御錫で 芳草櫻

○

下界にも櫻咲く頃來ませり 悲水

○

念佛に振ぐ堂宇や春日遲々

大塊嶺の當選を祝す 崖城

花の山巍然と立る大和武士 訂正

○

花の都に映ひて御法の大いなる 鳥兎

耳入出で、花の都のおでやかに 軒

美麗な記念の香盒
大谷光演師から朝鮮僧侶九名へ
廿七日の朝鮮ホテルに於て接見

大谷光演師の朝鮮僧侶接見は豫定の通り二十七日の午前八時から朝鮮ホテルの休憩室に於いて行はれた、接見を得べく

◆參會した僧侶 は三十本山委員長通度寺住持金九河、龍洙寺住持姜大蓮、奉恩寺住持羅晴湖、乾鳳寺住持李晦明、楡岾寺布教師金南泉、梵魚寺布教師釋王寺布教師金擎雲、佛教月報編輯員權相老、佛教擁護會幹事李能和の九氏で一同著席するを待つて法主は南條、村上の兩博士、沼錄事、大幸執事その他を隨へて出席、先づ毎日申報中村健太郎氏の通譯で

◆一同に對して 「私が今度初めて朝鮮に參り皆樣と親しく御目にかゝりお話を承はる事の出來るのは洵に喜ばしい事である」と述べ之れに對する通度寺住持金九河師の答辭があり、一通り挨拶の交換が終ると法主から「朝鮮の佛教の衰へたる事は豫てからきいてゐたが今日では內地の僧侶と協力して布教に努めら れて居るのは

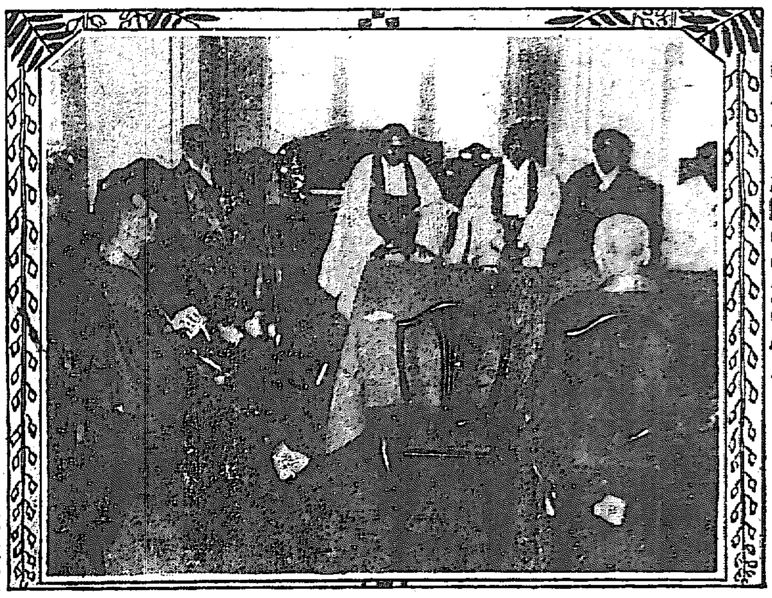
◆佛教のために 何より喜ばしい事であるが更に將來に於いても心を同じうして朝鮮に於ける佛教の隆興を圖り朝鮮の佛教が古來盛んであつた時代と同じ樣に盛んに擴めたいと思ふのである」との意味を冒頭にしてそれから法主並びに南條村上の兩博士から交る交る古來及び現在の朝鮮佛教について質問があり之れに對して龍洙寺住持姜大蓮、梵魚寺布教師韓龍雲の兩師が

◆主として應答 したその問答の要旨は朝鮮佛教の宗派、李朝時代に廢佛の理由朝鮮僧侶の階級その他の問に對し宗派は臨濟宗が主なるもの、李朝時代に佛教の衰へたのは高麗朝時代に佛教が隆盛であつたために儒教が冷遇されてゐたが高麗朝衰へて李朝勢力を得るに及んで政府の要路の大官に儒教を奉ずる者が多くなつた結果佛教を壓迫して

◆儒教の發達に 努める事となつたのに出る、亦寺と信徒の關係が薄らいだのは儒教衝突の結果佛教の衰退となつて僧侶は何れも山深く隱遁したからであるが今日では總督府に於いて社寺令を發布して佛教の發達を保護さるゝために全道に於ける信者の數も三萬五千に上つた事、その他種々佛教上の問題について約一時間に亙り頗る

◆打解けた談話 を交換したが毎日申報記者中村健太郎氏の通譯は何れも双方によく徹底し法主兩博士並に朝鮮僧侶等も非常に滿足し最後に法主から朝鮮に佛教を擴めるについては向後も絶えず內地から僧侶を派して見學せしむるつもりであるが皆樣に於いても十分道のために盡されん事を望むといふ

◆意味の挨拶を 爲し金[illegible]寺住持厚く謝辭を述べ更に法主からは記念として美麗なる香合一個宛を贈り九時接見を終つた



♣大谷光演師の朝鮮僧侶接見

◆東宮 皇陵御巡拜

東宮殿下には五月七日より大阪府下の皇陵御巡拜並に楠公誠忠の跡を偲ばせ給ふ思召にて同地方に行啓あらせらるゝ事となりたるが白鳥博士、山口諸陵頭說明に任ずべし（大阪特電）

●麥酒瓶で毆る 怨みも無いのに

本籍熊本縣阿蘇郡山田村當時京城長谷居住簿記學校生徒龜井弘(二)が二十一日午後九時頃黃金町三丁目の路上にて氏名不詳の朝鮮人と論爭中突然橫合ひより現はれ出でたる一鮮人あり件の曲者は物をも言はず携へたる麥酒瓶を以て弘の前額部を强打し長さ三仙米突深さ骨膜に達し治療三十日を要する裂傷を負はせ其の出血を見るや闇に紛れて姿を晦したるが急報に接し本町警察署の警官が驅け付け犯人を追跡して取押へ引致取調べの結果兇の者は黃金町三丁目[illegible]措寶姜命福(三)といひ弘に對し何等怨恨もなき無關係者なること判明し身柄は檢事局へ送られたり

●十二棟燒失す 二名火傷を負ふ

黃海道黃州郡天柱面外下里農申來元方より十六日午後四時頃發火したるが折柄の强風に火は忽ち全部落に延燒し七戶十二棟を燒き拂ひて午後十一時鎭火せり損害約九百七十七圓なりと發火の際申元妾莫得が發見したるも猛火は忽ち同家を包みし爲め同女及び申在連の兩名は辛うじて逃れ加療二週間位の火傷を負ひたりと原因に就ては取調べ中

●滋賀縣大火

二十六日午後滋賀縣伊香郡月岡村字柳ケ瀨小杉重太郎方より出火郵便局停車場等五十戶燒失し一村殆んど全滅せり原因は鐵道機關車の煤煙の飛火ならんと（大阪特電）

●判任官の正服で無錢遊興 圖々しい二人男

熊本市外年井町生れ京城太平通二丁目居住元臨時土地調査局書記三木茂(三二)東京市京橋區入船町生龍山漢江通居住元調査局雇員八木鐵太郎(二)の兩名は打伴れ四月十三日夜三木は判任官の正服掛けにて旭町料理店玉水事村中その方に到り藝妓を揚げて遊興したるも兩名共所持金なく

▲金策の爲め 八木を人質として殘し置き三木は立出でたる儘歸り來らず八木は家人の隙を覗ひ坂塀を乘り越えて逃走したるより同家では直ちに告訴し兩名共本町警察署に引致取調べ中鐵太郎の母は病死するに至りたるも鐵太郎は其の葬送だに出來ず元同僚なりし桑原某が不憫に思ひ金十圓を玉水に支拂ひ遣り殘額の遊興費は五月二十二日迄に支拂ふ約束にて示談整ひ一先づ歸宅を許されたるが一方三木は昨年八月二十五日櫻井町二丁目松岡一德より

▲百圓を借用 するに際し連帶保證人二名必用なるも署名し呉れる人なきより同僚なりし明治町二丁目居住の同局書記山田議五長橋町居住の同局技手渡邊金次郎兩名の本籍氏名等を冒用して記名し其れに僞造したる印章を押捺し恰かも兩名が保證人となりたる如く作製したる證書を松岡に交付して金百圓を騙取したること發覺し取調べの上何れも檢事局へ送られたり

●スミス氏 謝恩飛行を試みん

鳥人スミス氏は實母と共に二十七日朝大阪に到着二十八、二十九兩日鳴尾に於て謝恩飛行を試むべし（大阪特電）

●山梨縣人家族會 山梨縣人山梨縣友會にては二十九日午前十時より奬忠壇に於て春季大會及び家族會を催し運動、餘興、模擬店等開かるゝ筈なり因みに新たに入會希望の同縣人は大和町一丁目金井眼科病院內同會事務所に申込まるべしと

●米汽船獨艇を擊沈す 米獨海戰最初の一發にて

倫敦來電に據れば、米國汽船モンゴリヤ號船長は證明して曰く本船は獨逸潛航艇に襲擊せられ米獨戰最初の砲門を開き第一發にて同潛航艇一隻を擊沈せる名譽を博したりと（紐育電報）

●排日活動寫眞禁止

米國カリフオルニヤ及び櫻府の聯合勞働協會は排日活動寫眞禁止の議案を可決せり（桑港電報）

本社主催 南北滿州視察團
◆長春城內の繁昌
北朝鮮との連絡＝區劃整然たる新市街＝官民の歡迎會＝奉天著

長春に於ける二十六日は朝來の細雨の輕塵を濕ほし視察團には誂へ向の天候なり。一行は午前八時より一同馬車を連ねて鐵道附屬地及び長春城內の視察に向ふ

◆附屬地一帶は 日露戰後初めて日本人の手に經營せられたる區劃整然たる新市街にして哈爾賓を看たる眼には快感言ふべからず一行は先づ警務署、小學校、病院を經て領事館に到り此處にて茶菓の饗應を受け更に馬車を驅つて城內の繁昌を見物せり。將來此處より吉林を經て北朝鮮の淸津港に至るべき吉長線鐵道は市街の東方一里餘の處に

◆停車場を設け たるが是一度び長春の地を踏みたる者は此の白山に連れる大市場と北朝鮮の聯絡が緊切なる急務たるを切實に感ぜざる能はず。一行は更に臺灣銀行より大豆積込み專用線の大廣場を見渡し更に取引所、信託會社等を見物の上午前十時よりは大和ホテルにて官民多數の歡迎會を受けたるが席上滿鐵地方事務所長村田氏は一行

◆歡迎の挨拶を 試み阿部本社長謝辭を述べ頗る盛會を極めたり宴會後村田氏の長春に關する一場の講話を聽き盛なる爆竹の聲に送られ一同午前十一時二十分出發せり、沿線の潤き平野には楊柳煙り、諸處の畑には耕作の人馬點々たり。斯くて驛著其れ〳〵定めの旅館に入り二十七日は更に撫順の見物に向ふべし一行相變らず元氣旺盛なり（二十六日午後八時二十分金谷部員發電）

◁視察團より▷

▲爽々しい湯崗子溫泉

▽下り列車 ▽[illegible] ▽[illegible]

◇廿一日の午後六時十分旅順から一度大連に引き返した一行は夜の十時といふに再び大連を出發して北行した。滿鐵の謂ゆる下り列車である

◇朝は熊岳城あたりから夜が明けて蓋平の停車場では杏のプラツトフオームに洗面した

◇汽車の裡では八日間の旅行にすつかり十年の知己となつた人々が互に手をとつて談笑するやら繪端書をかくやらなか〳〵の賑ひはひそのうち一行中の元老能山の岩田鳳眼有氏が起つて半切れ紙を讀み出した

◇一同が拍手して謹聽すると七十一翁は沈痛な面色で朗々と讀みあげて曰く「大連の菜ね多見ても思ふかなわが大君の御稜威長こし」「日の本の光りにつれて星ケ浦かとやく浪の靜かなる御代」旅順にて「十年あまり三とせを過ぎて武士の遺骨を見るぞ心かなしき」「聞くにつけ見るにつけても偲ばれぬ旅順の山の戰のあと」老人は讀み了つてホロリとする

◇汽車は朝の九時三十分湯崗子驛に著いた溫泉は驛から四丁ばかりの畑の中にある

◇湯宿滿林館は畑の中の彩旗をひるがへした家をすぐ知れた、湯はまた少々熱い位ゐで部屋の設備も堂々たるもの何處かの室に「座廻れば野に在るが如冴ゆるかな」と碧梧桐の揮毫を組み合せたやうな字が見ねる

◇一行は輕い浴衣がけのまゝで出發以來八日間の黃塵を洗ひキユーをつ人、ピアノを彈ずる人、非常なよろこび、別棄中の宿の裏庭に立てば近く鐵道線路に沿ふた鞍山店の山かげにユラ〳〵ユラ〳〵と陽炎さへ燃えて遙かに續く楊柳の村のかなたには千山の連峰が鮮の齒のやうに顏を出す

◇千山は滿洲の金剛山とも云ふべく滿洲の人は勿論遠く西比利亞邊から遊覽客がやつて來る山は唐の大宗が蹕を駐めたといふ所で湯崗子も左樣であつたといふ兎に角吉林の長白遼西の醫巫閭山と並んで有名な山である驛からは四五里程滿洲の野にも山にも春が來た（廿三日湯崗子溫泉にて金谷生）

特別大能樂會 壽座
今様能樂 泉祐三郎社中
廿八日廿九日二日間開催
上場行次第金五十錢
各流師範贊助手催

商況

債券現物特電 東京 二十七日出來値
東拓 七〇、〇〇 / 京城電氣 五六、〇〇 / 朝鮮銀行 一四一、〇〇 / 朝鮮殖產 一八、〇〇 / 南滿鐵道 一四四、五〇

公債直取引 東京 二十七日出來値
五分利特別 九七、九〇 / 五分利 ― / 一回四分 八二、一〇 / 二回四分 八一、二〇 / 甲五分 九七、七〇

深川在米特電 二十七日現在高
內地米 一九九、四四八 / 朝鮮米 六八、七七三 / 臺灣米 一、七一四、六〇五

東京期米特電 二十七日前場 五月限
寄付 七、一五 / 高値 七、六二 / 安値 七、一二 / 止め 七、一四

大阪株式 二十六日 後場日本郵船八圓同新株十二圓東京株八圓大阪株十四圓高

銘柄	寄付	引
宇治川水	五〇、〇〇	五〇、〇〇
京阪電車	五〇、〇〇	八二、〇〇
東洋紡績	五〇、〇〇	二〇五、〇〇
合同紡績	五〇、〇〇	二九、五〇
鐘淵紡績	五〇、〇〇	二三〇、五〇
同上新株	五〇、〇〇	二〇七、〇〇
東洋精糖	五〇、〇〇	二〇五、五〇
大阪商船	五〇、〇〇	二〇三、〇〇
日本郵船	五〇、〇〇	二二八、〇〇
同上新株	五〇、〇〇	二一三、〇〇
鈴島米穀	五〇、〇〇	二三一、〇〇
東京新株	五〇、〇〇	二〇〇、〇〇
大阪株式	五〇、〇〇	二八八、〇〇

大阪期米特電 二十七日前場
寄付 一六、〇五 / 中限寄付 一六、四〇 / 先限寄付 一六、九二 / 止め ―

下關期米特電 二十七日前場 荷照買方發戒路
寄付 一五、九九 / 中限 一五、八〇 / 先限 一六、四四 / 止め ―

雜報

●鐵材稍落著く 鐵材は月来關係に加ふるに餘り急昂の爲め一般に形勢彷徨の態度に出でたれば市場は甚だ落付き模樣なるも外鐵は生產致は增加し運賃は暴騰し而も注文滿腹の姿なるを以て新規外注を進むるには躊躇するの外なく特に鐵板薄板の如きは十一月の積出期とて年內に入荷を見るや疑はしく一方內地市場は平和騷念の存するより米鐵の高値を眺めて久しく外注を手控へ居たる結果

●津約定品の新規入 津としては數ふるに足らざる可く品過迫の狀態なれば市場も相場の見るべきもの…鐵米の製鍊所は六月積出しなれば割合に仲乃之材共底意は仲々强く…

●粗布賣止解除 二十三日以來賣止め中なりし東洋紡績の粗布は二十六日夜に至り突然之が解除を爲し…

●三エー建値百九十六圓を發表 …
●會社發表値以下に賣應 …前途の健實を唱ふ …

●綿糸高と木棉地 …依然二十五六圓處の安保合 …

●牛脂鈍狀 …在荷乏しく…

●米輸約五百個許輸入を企 …神戶の相場は十三四圓見當 …

●米輸再び輸入 …

●正米稍々落著く …深き雨の適度の潤 …或程度迄の下押 …

●安東大豆大停滯 …相當の收穫 …挾雜物少 …

●市中値段原價最低 三圓臺 …實際の市中の賣値は遙に廉 …例年に反し跡上 …

●玄米百餘丁白米百五六十丁方の大暴騰 …持合の儘稍々落著 …仁川正米界は相場の四五十丁方の低落 …天候の關係尤も …

南大門の廻穀
平壤玄米 一三五叺 仁川白米 二七〇叺
平壤玄米 一八九叺 仁川玄米 七〇〇叺
仁川玄米 三五二叺 大田玄米 四〇〇叺
仁川玄米 三〇〇叺 平壤玄米 一八〇叺
仁川白米 一四〇叺 大川玄米 一九一叺
仁川白米 一九〇叺 大田玄米 一〇九叺
平壤玄米 一〇九叺 仁川白米 一三〇〇叺
仁川玄米 一八九叺 平壤大豆 一〇〇叺
仁川玄米 二一五叺 黃州白米 二一四叺
黃州胡麻 二八叺 黃州白米 二一六叺

仁川現物市場
▲穀入津三、四百俵 氣配は正米安に連れ安居れり
▲正米入津五百餘叺 氣配は定期當限の大暴騰に現はれ買人の見送り…
▲大豆入津五百叺 氣配依然高保合を唱へ居れり

仁川期米
▲二十日前場 兵庫前寄十六
十六圓九十二錢 二節九十一 …大阪前寄 …四節九十 …

仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話四三二八番

市場零聞
▲頭重く保合 …新規に投資物多 …當月限大解合の …

仁川米豆取引所
二十七日の六月限
節	寄付	高値	安値	止め	出來
前場一節	十三圓〆六				
前場二節	十三圓〆三				
前場三節	十三圓〆七				
後場四節	十三圓〆五				
後場五節	十三圓〆五				

賣買取組高 四月限 一萬五千三百五十石 五月限 一萬六千四百五十石 六月限 二萬六千六百五十石

●鑪て不勢 …持米筋の賣り聲き說 …雨模樣に投招致 …

●解合と正米 …急遽一日切の暴騰を來 …採算上解合の勢 …正米界に於て賣べから …昨日の出來値より三十錢乃至五十錢安 …

●結果正米の賣物一時に現はる …
㊦の大商內 ㊀の大商內 ㊥の商內 ㊁の商內 ㊂の商內 ㊃の商內 ㊄の商內 ㊅の商內

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

天氣 雨後曇り

●女故に賊となる …押へんとせしに手拭及び紙を捨て逃走したる首其筋に訴へ出でしたる捜 本署に同行し取調べしに同人は岡山縣…目下內鮮次方の原口かね(三)と馴染み居たりしがかねが去年二月馬山に…又た神社佛閣に參詣者を裝ひて賽錢箱より…種々の犯罪の…

●募集規程 用紙は…

白日の下の旅順要塞(二)

▽爾靈山上烈風の雄叫び△ ▽觀察團一行山上の懷舊△

二龍山の烈風を浴びて頭も頸も眞ッ黄くなつた一行は壯烈なる戰死者の遺骨と軍刀とに敬意を表して倉皇馬車を驅つて松樹山に向つた、此所の砲臺も赤山骨露はなる

■石塊の壘々 たるもの當年の掩蔽壕、側防穹窖等一として無言の呼號を擧げざるはない、殊に此の砲臺の前面斜面は近く鐵道線路に接して居るので日本軍の突撃は容易であつたかと思ふと驛長さんは首を振つて『イヤどうして〳〵』此の傾斜を

■匍ひ登れば 側面の二龍山や白玉山から撃たれるに決定つたことで此處に向つた第九第一師團の勇士は外壕に寄るまでに既に三千人の死傷者を出した當時砲臺には五百人の守備兵が居たが遂に我が軍から進み穿つた坑道に爆然數十貫の火藥が爆發した爲め敵の二百五十名は

■暗路の中に 吸ひ込まれたまゝ鮨詰めのやうになり了つた、此の窖窖の闇の毛布や白骨を御覧なさいとのはなし……風は相變らず延々として驛長さんの手を引きちぎつて行く、一行は更に記念品陳列場を見た、靜かな旅順の街はそこにも此處にも果樹園が多く〳〵暖かい春光に杏の花も爛漫である、一行は更に

■舊市街から 馬車をつらねて二〇三高地の弔訪に向ふ、途中坦々たる新市街のアスファルト道は東から西を驅るに快地よく西太陽溝の巓から赤阪山の下に馬車を捨つれば爾靈山の雄姿は突兀として高く眼前に起つ行き行きて赤阪山と二〇三との鞍部に登れば其處には一軒の寫眞撮影ネと菓子屋とがあつた

▼山巓に起つて遙かに脚下を

下瞰すれば旭灣の水は白く輝き前方南泉山の向ふには一七四高地が横はつてゐる、當年日露兩軍の天王山たりし此高地に如何に凄慘なる爭奪戰が行はれたかは犬の齒の如き石塊の怒りが明かにこれを證して餘りある熱心なる久保田驛長に代つた記念品陳列場の本田德太郎氏はまた

■當年の勇士 であつて『此處の岩角で斯う投げました、すると向ふの峰でウラーの突撃が潮の如くに押し寄せました……』と自ら當年の奮戰地に起つて物語るのであつた、すると山上の寫眞技師が『先日あのあたりで八百人の遺骨を發見しました』といふ今し一行の立てる爾靈山の山上は一握の土一塊の石と雖も

■勇士の鮮血 に染まざるはない、折から『モウ汽車の時間がない』と赤帽の久保田驛長が走り出す一行はこれにつゞいて一氣に山麓まで駛せ降りた、本田陳列場長は急な山路を駛り降りながら『兎に角二〇三高地に亘大な廿八珊砲彈が二千發爆烈して居ます

■わが戰死者 は九月十九日より第一次の攻撃に一千六百四十三人、第二次の攻撃に七千五百五十八人、總計一萬餘人の數に達します……』といふ、馬車に飛びのると共に支那人の馭者は鞭をあげた、馬車は靜かな〳〵沈默の街を快く駛て午後四時過ぎに驛に著いた、やう〳〵落著いた心で旅順の其處此處を見渡してゐると明い四月の花曇りに墓標のやうな

■山巓の石が 各所に見られる殊に驛の眞上の白玉山には二百十五尺の高い表忠塔が赤空に聳えて旅順の山を見守つて居る、日露兩國の兵士が互に撃ちあひ斬り交へた山上、當年の雷電叫喚の聲は氣味惡い程靜まり返つた永遠の沈默に旅順の山に籠ひかゝつて居る、一行は出發にも亦多數官民の見送りをうけて再び大連に志した、旅順の山よ、さようなら(二十一日車中にて金谷生)

◆華やかな夜の歡樂境

―哈爾賓に於ける見聞記―

哈爾賓の氣分と露西亞の氣分を味はう爲めには誰れでも夜のシャンタンをのぞかねばならぬ深夜一時から始まつてやう〳〵黎明に至つて休む

▽シャンタン の賑はひ、此處にはのんきな露西亞人氣質がよく現はれる、われ〳〵が眠い眼をこすりながら哈爾賓のモストワヤ街の東洋館を出たのは深夜の一時、支那人のイヅウオーシユ(馬車)は戞々の響きを立ててキタイスカヤ街の幾通り電光の明るいパレルモ軒に著いた

▽よく樣子の 知れぬ日本人などは此處の『パレルモ』の名稱を以てこの歡樂境の總稱かと誤解しておるが『パレルモ』は日本に於ける、大正館、黄金館の類で決して踊場の總稱ではない、下らぬ理窟は兎も角として われ〳〵は今しピアノの響きゆるやかに流れ出る『パレルモ』の扉を排した、中には

▽大きな露人 の門番が居て叮嚀に外套や帽子を預つて呉れるそれから覗く狹い平屋の舞踏場そこはまた露西亞ならでは見られぬほど風變り、深夜人も街も靜かに睡つた此の夜更けに下の廣場には白い卓子のまはりの芳醇なる酒の匂ひと草花のなまめかしさが先づ以て人の心をそゝる、雖見れば意氣な『タンツオフシチーツア』(踊り子)は

▽黄金色ノ髪 と大きな瞳をかゞやかせて燕尾服の紳士や長劍の軍人と卓を圍むそやがてチヤラヂヤラ〳〵ンと鈴の音がすると共に正面の美しい幌が開いた卓子を圍む觀客席の電燈は一時に消え瀰り舞臺の上のみ明るい、假かに管絃樂の響き起る、舞臺には一人の

▽大きな眼の 女が出た、脚も露はに見せて一本の洋杖を持つたまゝ踊り出す踊り狂ふその兩手さ兩脚のはたらき舞ひ了ると枝敷からの拍手と共に美くしい此の『タンツオフシケーツア』は姿をかくした次に出たのはこれも半裸體に紅の鎧のやうな金ピカをつけた歌姫でこれも黄金色の髪と青い瞳の美人である美人は手振り身振りと共に

▽美くしい歌 を唱ひ出した、歌の意は若い青春の戀歌か、或はまた小露西亞あたりの俗謠か、歌ひ了ればまた盛んな喝采が起る、その次ぎに出たのは白い薄紗の女であつた、歌の文句が氣に入つたのか下の紳士が一束の『ブケー』(草花)を贈つた、踊り子は溢るゝ許りの愛嬌をこぼりして奥に入る、次に出たのは小露西亞服の女

▽小露西亞の 服を著た女と角笛の巴里人の流行を追ふ女、とに角管絃樂に合せた歌ひ手は澤山に出る、それに又粗朴な百姓の著物で歌ふ男があつた、これは時事問題を諷刺して歌ふ歌ひ手で輕い調子で笑はせて行く慇度とで賑やかな歡樂境は午前四時頃までつゞいた、聞けばこんな踊りは露西亞の何處にも催ほされるとで一杯の葡萄酒に十留をとられる踊り子への纏頭に

▽百留の紙幣 を投げるのは露人でなくては出來ない仕事、兎に角露人は藝術の愛好者である、現に目下世界に名高い『バレー』の踊りなども露人ペチパが一八八〇年こしらへたものでそれが露西亞の帝劇に上され且つ柔かくされて普く一般の民衆に擴がつたのであると、あゝ世界の名優ニジンスキーを有する露西亞の藝術!!それもこんなところから養はれるのであらう=つゞく=(哈爾賓にて金谷生)

◉法主仁川へ

廿九日宗祖法要

京城に滯在中なる光演法主一行は二十八日午後四時三十一分仁川驛著、法主及び南條博士は直ちに堀力太郎方へ村上博士は淺方へ石川成章、師外隨行員は朝日屋其他へ投宿、同日は高等小學校南天體操場に於て南條村上兩博士の講演ある筈にて二十九日は法主は南條博士を隨へて仁川監に到り一場の敎誨をなし正午より法會引續き親敎南條博士の復演あり終つて歸敬式を行ふ同日午後八時同寺に於て佛敎講演會を催ほし村上南條石川三師の講演ある筈なるが三十日午前七時十七分仁川驛發の筈なるが廿九日の法要には一般人の參詣を歡迎する由なれば日曜のこととて非常の人出を見る可く本願寺にては青者多數集まり準備に忙殺され居れり(仁川)

◉櫻花爛熳

色好い返事の花の鉛!花の峰!

咲いた、咲いた、櫻の花が、二十三四日來から山手道路及び各國公園日本人墓地には紅霞棚引いて

♣萬目維れ花‖ の美しさを呈して運動谷や、牛角里さては桃、等には各組合の運動會、觀櫻會が催されてゐる、二十四日の日曜日には人の氣を揉せた計りで、色よい返事を聞かして呉れなかつた

♣月尾島の櫻‖ も爛熳として或は錦繡の如く、或は彩霞の如く花光燦發して目眩するの觀がある

♣紛々たる落‖ 花をあびつゝ花の飴、花の醉を訪ふ風情は又格別であらう(仁川)

◉素人義太夫聯合大會

▽來る廿九日より五日間 ▽壽町壽館に於て開催

京城素人義太夫の大番附を作成する爲め各師匠及び所屬會の賛助を得て來る二十九日向ふ五日間壽町壽館に於て聯合大會を開催する筈にて各部屋の出演者は目下熱心に練習中なるが今回は場内に投票箱を設け來聽者の投票を公平に採點の上五日目に各高點者の決戰を行ふ由、出演者は多數の見込みにて既に決定せるもの次の如し(三味線は各師匠總出)なるが各部屋所屬以外の天狗連にして出演を望むものは前日迄に壽館内の組合幹事に申出づべしと

[illegible]

◉紫泉會再び開演

要きに壽座に開演して好評を博したる今樣能紫泉會泉福三郎一派は二十七日より平壤に開演の筈なりしも[illegible]の都合により中止し二十八、二十九の兩日再び壽座にて京城觀世寶生各流儀の賛助の下に開演すべく特に入場料も五十錢にて上場種目は左の如し

▲[illegible]▲巴▲殺生石▲成田[illegible]▲班女▲[illegible]番外として櫻川、富士太鼓

◉罠仕掛の泥棒

滋賀縣愛知郡角井村生れの眞野與七(三〇)は外一名と共謀し四月十日午前九時頃京城[illegible]郎方に至り主人の不在を見て妻女を集に用事ありと欺きて與七が他家に誘ひ出し其の留守中に相棒が忍び入り衣類十二點(六十圓)を竊取したるが與七は此程本町警察署の手に捕はる

▲牛肉のライスカレー 肉を[illegible]に切り[illegible]鍋に入れて[illegible]にひたしておくなぬきます[illegible]にフライ鍋にバタカラードをとかして肉を入れよく炒れてから野菜を一緒に入れて炒り[illegible]カレー粉は[illegible]加減なします[illegible]かきまぜながら[illegible]に鍋をおろし熱い御飯にかけて食べます[illegible]代りに普通の[illegible]でもよろしいです

◉入佛供養と御忌會

平壤[illegible]本願寺派[illegible]敎務所主任羽田顧應師は今回内地より[illegible]佛を請じ來る二十八日より向ふ三日間入佛供養を[illegible]勤むる筈にて二十八日午後一時本尊佛の迎の由なるが當日の[illegible]

◉中券藝妓の花見

中券藝妓にては來る四月二十八日東大門内[illegible]月部別莊に於て券番藝妓の觀櫻會を催すべき筈なるが午前十一時朝鮮銀行前に集合會場に到り正午撮影を開き一時より寶探し等ある由

◉琵琶演奏會

京城旭翠會にては二十八日午後六時より壽館に於て筑前琵琶春季演奏大會を催すに付き斯道の名士前田旭心(筑前)小田旭浪(福岡)宮旭昇(博多)の三師並に京城名流諸氏も出演すべし演奏曲目左の如し

[illegible]

[illegible]る前科者にて嘗て同地にて[illegible]賣店に入營して覺消し平素は保險會社員なりと稱して諸家を訪問し家人の隙を窺ひて諸物品を窃取し[illegible]郡金浦村生れ當時居所山府南町三丁[illegible]

[illegible]通告者には五十錢[illegible]何書何號と明記に具る△宛名は京城日報[illegible]

(宮内省御買上品)

寢化粧の法をお勧め致します

人間の靜まつた皮膚は神經作用なき爲め、自由にお化粧の効果を現し、急速に美しくなります

夜お休みなさる前へ必ずお顔にお塗なさい

生理上から最新化粧料として一番効果のあるのが夜お休眠なさる前に一二滴づゝ必ず習慣的にお塗け下さい

色白く美人となる

東京で一番よく賣れる家庭化粧料

ホーカー液

白粉下トキ水として 隱化粧料として

定價 小瓶…金二十錢 中瓶…金四十錢 大瓶…金八十錢 送料 内地参料 滿鮮卅錢

(小瓶縮圖)

朝顔をお洗ひになつた時、御飯前のお化粧に、午外出をなさる時、人とお會ひの時、夕お湯上りに 一二滴づゝお塗け下さい

ホーカー液は最も永年綿密研究の末、高貴な美白原料を配劑して精製した物で、日本の御婦人紳士方の肌には最も適合した素肌料として、評判に評判を重ね最近に於ては殆んど製造し切れざる劇増となりました。本品を塗けると何故評判の樣に色を白くキメを細かにするかと申せば、皮膚の上に柔かい一種の循環作用を起して醫學上から申す顔面衰弱を防いで自然とイキ〳〵した顔色となるのでムいます。最近いかゞはしき類品が澤山出來ますが是等は一時の速製品にて危險ですから御注意下さい。

はかり賣注意

近頃ホーカー液の詰替へ量り賣などする不正商人がある由ですがそれは僞物に付御注意下さい本品は大中小各瓶とも嚴封した貴重なる化粧料でムいます

全國到る處小間物化粧品藥店に販賣す 最寄の店に品切の際は、振替又は三錢切手代用にて直接本舗宛御注文下さい

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髪液 ホーカース井ート

本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話神田特長一四四一一四五 振替口座東京一五六番

ホーカー液の効果

●色をクッキリと白くする
●春の日ヤケを防いで色艶よく
●白いばかりでなく血色を増し
●白粉下白粉のトキ水に
●常に皮膚の營養となり
●匂ひ爽かに婦人を優麗にし
●お子供衆の肌を丈夫にし
●額のザラ〳〵を防ぎ
●男子方のヒゲソリ後によし

商業登記公告

株式會社平安農工銀行第五回社債登記

一、社債ノ總額 金四拾萬圓
一、各社債ノ金額 金貳千五百圓
一、社債ノ利率 年五分七厘
一、社債償還ノ方法及期限 元金ハ發行ノ日ヨリ參箇年据置以後七箇年間ニ毎年貳回(參月壹日九月壹日)毎回金壹萬圓以上ヲ償還スルモノトス利息ハ毎年參月及九月ノ各壹日ニ當日以前ニ屬スル六箇月分ヲ仕拂フモノトス但發行ノ初期ハ日割ヲ以テ計算ス
一、各社債ニ付拂込ミタル金額 金四拾萬圓

右大正六年四月貳拾五日登記

海州地方法院 瑞興支廳

亞鉛、銀鉛、銅、鐵鑛 右の鑛種に對し 鑛區買入(許可前出願) 營業資金融通 鑛物買入 京城明治町一丁目七番地 正巳鑛業所 電略(マ)又は(マサミ)電話一一五九

十週年と支那料理 料理人を天津より呼寄せ料理其他に大改良を加へ大好評を博すると同時に日本美人給仕を召抱へ十週年自祝の爲特別大勉强仕候尚ほ出前、宴會も同樣御用命奉願上候 京城太平町 麗華園 楊本賢 敬白

ダリヤカンナ カタログ無代進呈 京城西大門外竹添町二丁目 東京千草園分園

▲石版活版各色 ▲印刷用インキ ▲謄寫版インキ ▲石版用ルーラ ▲製造販賣所 京城古市町(元郵便所跡) 芹川商店

釣漁具各種 卸小賣 仁川海岸町三丁目角 芹川漁具店 電話七五四番 振替京城一七六七番

大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎

本火入賣出し

特約販賣店 京城本町二丁目 佐藤牧太郎 同 本町三丁目 特約販賣店 明治屋支店

明君道中記

第百廿八席　田邊南龍口演

大久保彦左衛門は井伊掃部頭の尋ねに答へて「然らば此の席にて其の御名代の者を撰みまする、是より宇都宮城内に参つて一泊爲し日光御代参いたすには板倉内膳正こそ然るべく、又御立退の御身代り役は松平越中守こそ然るべし、夜分になつて將軍は越中守の輿物に召され御戻りあつて然るべくと存ずる」是を聞いて居りました板倉内膳正に松平越中守は驚いた、見立ることに事をかへて賦ん役に見立られた、釣天井を承知をして城内へ乗込むのも危險だが將軍家の御身代りとなつて御輿物へ乗つて江戸表へ歸るのも危い、然し仕方が無い、乃で其の儀を將軍家へ申し上げると、茲に於いて家光公も最もと思召彦左衛門の申す通り取計へといふ御諚、乃で將軍は直ちに松平越中守の輿物へ召されて江戸表へお戻りになることになり、此時に網代打上げの輿物を桑名の越中守が拜領いたしました、舊幕時代には將軍家と同じ様に網代打上げの輿物を拜領いたしたは越中守ばかりでございます、扨て方は板倉内膳正重正日光へ御代参を仰付けられましたので其の夜宇都宮城内へ参り上野介正純に面會をいたし、今回將軍家俄の御不例にて江戸表へ還御仰出され右に就て内膳正日光御代参を仰付られ當城内へ罷越したる趣を述べましたから、上野介は案外に思ひ、折角造へたる釣天井も無用となつて將軍家を討ち奉ること叶はず、海に麁念然しいたし方もなき事、御名代の内膳正を右新御殿へ案内いたして叮寧に待遇する、なれど内膳正は心配でございます、折角造へた釣天井であるから試しに一つ落して見やうかなぞと落されては大變、今晩は夜の明るまで上野介を傍へ引付けて徹き酒宴をいたして居つたら豈夫れ落す氣遣ひはあるまいと思ひ、種々話しをなして上野介を少しも放さない、流石の正純も驚いて座を立とうとすると内『アイヤ上野殿何處へ』上『鳥渡御免を蒙り廁へ参ります』内『ハア厠へお出か俺も共に行う』と厠へまで一緒に行く、斯して夜は明けた、乃で早々當城内を板倉は出立日光山へ急いで参ります、此の方は能く將軍家の御名代となつて死ぬ瑞祚と見ねまして此時には免れましたが後寛永十五年正月の元日肥前の天草一亂の時島原城にて討死を遂げましたが此の時も板倉は將軍御名代として出陣したものでございます、偖松平越中守は將軍の御身代役をいふのであるから若し眞の將軍と間違ひ殺されては大變と八方へ心を配つて居ります、時は寛永九年の四月十五日は蒸く冴々と致して居りまする、松平越中守の輿物に召した家光公、其に附從ふ者は右は御供頭小野治郎右衛門、左は供頭柳生但馬守左右に從ひ其の前後には安祥以來徳川の旗下四谷六方白柄組、金銀入齒組或は公方の腰押組なぞと組を立たる旗下衆、水野十郎左衛門、近藤登之助、氣松又四郎、白鞘三左衛門、松平紋太郎、大島運四郎、山中源内、同源太左衛門、大久保與膳、同彦六、加賀爪甚十郎、三枝金左衛門、伊東左京亮、水野吉兵衛、荒木十兵衛、阿部四郎五郎等を始めとして何れも白綾の襷を掛け其の上に羽織を著し、陣笠を頂き、大久保彦左衛門は、御輿物の後に附添ひまして、總同勢五十七人石橋宿を跡に急ぎ／＼にて疾風の如く馳せ小金井稲いて小山間々田野木古河中田それより利根の渡を踰わて栗橋宿も打過ぎ幸手の鰻畷にかゝつて參りました

院長　醫學士　森定吉
內科　小兒科　芙蓉醫院
京城本町三丁目瓦斯會社向側　電話二六三三番

齒科　橋本醫院
京城南山町三巴城館上降り　電話二一九二〇番

氣候の變り目に　人蔘キヤラメルを　御愛用あれ

暦

四月廿九日　九星
舊三月　九日　辛丑
本命五黄　八方開　大安

▲五黄　因業なる議論ある日新事見合すべし方は吉　▲六白　平安の日新規行商出商に[illegible]　▲七赤　[illegible]　▲八白　五損を蒙らんとす注意新事手控べし　▲九紫　運の開く日[illegible]　▲一白　ふさ蔑にかゝる事有る日[illegible]　▲二黒　[illegible]　▲三碧　[illegible]　▲四緑　[illegible]

口演藝案内

御成座　電話二九一　本町
一年十二ヶ月　伊達の浮橋　夢の園　佛式奇術（松井天外出演）[illegible]　全八場　全四場

壽館　京城壽町　電話一〇〇三
四月二十八日午後正六時より　筑前琵琶春季大演奏會　[illegible]

大正館　櫻井町　電話八七三
[illegible]

壽座　京城壽町　電話五七八番
今様能樂家元紫泉會　大正六年四月廿八日初日[illegible]　▲景清　▲巴　▲鞍馬天狗　▲邯鄲　▲夕顔　▲羽衣　▲百萬　[illegible]

黄金館　電話二六三七・六五三

本日より差替たる寫眞　黄金館
舊劇　姐妃お百　全三巻
社會劇　母と離れて　全三巻
喜劇　おへその宿替　笑の親玉
大滑稽リチーの逃走は日本一の滑稽辯士久世喜濤の説明でお笑くだされて
新派悲劇　白桔梗で涙をおしぼりくださいさ
餘興は一つマリ曲藝を御覧に入れ升

浪花館　明治町　電話二六〇
[illegible]

有樂館　早川演藝部直營　電話一〇五番
四月廿六日より三日間限り公開する[illegible]　泰西悲活劇「現はれた伯爵」全三巻　[illegible]

易　周介石堂　明治町二丁目　岡村介石

內科　眼科　小兒科　本田醫院
京城本町三丁目　電話二四四三番　振替京城三二八番
院長　本田進

痔核。痔瘻。裂痔。痔出血。脱肛痔　直腸脱
京城肛門療院　本田醫院附屬

月やく　なきにお困りの方は郵券参錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城黄金町三丁目　山田しづゑ

自然の黒髪のやうにキツト染る!!

ナイスの五大特長
一、タツタ二十分で染まる
一、永く保ちて落ちず
一、枕に汚點つかず
一、染めて毛の艶を増す
一、用方至極手軽なり

定價　大瓶金七十錢　小瓶金四十錢　男子用金三十錢

ナイス　シラガ赤毛染

發賣　大阪東京　丹平商會

丸見屋商店發賣品目

品名	効能	定價
◎ミツワ石鹸	精選されたる原料を以て製造され、本邦人の皮膚毛髪の洗滌に適し、衛生と經濟に合する理想的化粧石鹸なり。	大形 金二十錢　中形 金十三錢　小形 金十錢
◎ミツワ水石鹸	馥郁たる芳香を有する純良水石鹸にして從來の普通水石鹸と異り、品質優良衛生美容の資料たる芳香化粧料なり。	定價 金三十五錢　大壜 金五十錢
◎浮石鹸	在來の浮石鹸の多くは油臭く減り方早きに反し、本品は原料を精選し特別の製造法に依れる最善の浮石鹸なり。	大形 金二十五錢　小形 金十二錢　二個箱 金二十錢
◎ミツワ洗濯石鹸	粘土松脂を混じ又は過剰の水分ある粗製品は眞に洗濯に適せず、然るに本品は布帛の地質を傷めざる理想品なり。	定價 金六錢　大形 金十二錢
◎純石鹸	遊離の脂肪、遊離の亞爾加里なく、適度の溶解性を備へて、而も中途に溶け崩るゝ憂なき家庭用の經濟石鹸なり。	定價 金十錢
◎ミツワ椿油	新鮮の椿の實の皮膜を去り、強力なる水壓機にて冷壓法にて搾取せる純良品にして本邦人の毛髪に最も適す。	大壜 金五十五錢　中壜 金三十錢　小壜 金二十錢
◎ミツワ固煉油	純良なるミツワ椿油を基礎として精製せるものにして、從來の髪附油の缺點なく本邦人の毛髪に叶ふ良品なり。	定價 金二十錢
◎ミツワ花の雫	芳香馥郁たる家庭用脱著香水たる本品は温雅なる芳香を有し、清凉爽快の感を得ること實に無類なり。	定價 金四十五錢　大壜 金七十錢
◎ミツワ月の雫	毛髪の發育料頭髪用衛生香水たる本品は毛髪の發育を助け過度の脱毛及雲脂を防ぐ理想的の美髪料なり。	定價 金五十錢　大壜 金八十錢
◎三百番香水	ヴアイオレット、ローズ、リリー、ムゲット、ミモサ、ブーケーの六種ありて、贅澤にして最も經濟的の香水なり。	大壜 金二圓五十錢　中壜 金一圓五十錢　小壜 金五十錢
◎ミツワブリアンチン	馥郁たる芳香料とミツワ椿油とを以て構成せる純良品にして、本邦人の毛髪に適する艶的光澤香油なり。	定價 金三十錢　大壜 金五十錢
◎肝油ドロツプス	肝油特有の臭味を去り乳化完全に分布極めて細密、美味無臭にして一顆毎に純良肝油一瓦を含有せる滋養料なり。	百廿顆入 金一圓三十錢　五十顆入 金六十錢
◎復方肝油ドロツプス	純良肝油含量一顆半瓦に、有機鐵有機燐石灰及規那等を含有せしめ、貧血腺病其の他病者の滋養料なり。	百顆入 金一圓三十錢
◎ミツワ規那鐵葡萄酒	天然葡萄酒を基礎とし人造著色料を用ひず純良有効なる規那並に鐵を配合せる佳香美味の滋養的飲料なり。	定價 金一圓五十錢
◎ミツワ水枕	總ての家庭に水枕は常備すべきものなるが、本品は在來の水枕の如き缺點なき優良完全なる理想的水枕なり。	大形 金一圓　中形 金八十五錢　小形 金七十錢
◎ミツワ保温嚢	温度は平均し肌觸りは柔軟に、寒冷を凌ぐに適し、腹痛及裏急後重、腰痛レウマチス痛風等に對して大効あり。	定價 金二圓二十錢

○ミツワ家庭藥の特長
一、處方を公開し内容を明示す
一、處方的確にして奏効顯著なり
一、性質劇烈ならず中毒作用等の危險更に無し
一、藥品純良にして効力一定不變なり
一、製劑精確にして變質の憂なし
一、容器完全にして風化潮解することなし
一、包装嚴重にして携帶至便なり
一、内用藥は總て錠劑なれば服用容易なり
一、價格低廉にして永く保存に耐ふ

品名	容量	價格
ミツワ人參錠	百錠入／五百錠入	五十錢／二圓
ミツワ複方人參錠	百錠入／五百錠入	七十錢／三圓
ミツワ健胃錠	三十錠入／百錠入	十錢／二十錢
ミツワ消化錠	三十錠入／百廿錠入	十五錢／五十錢
ミツワ解凝錠	三十錠入／七十錠入	十五錢／三十錢
ミツワ緩下錠	四十錠入／百廿錠入	十錢／二十錢
ミツワ止瀉錠	廿五錠入／六十錠入	十錢／二十錢
ミツワ驅蟲錠	廿五錠入／六十錠入	十五錢／三十錢
ミツワ清凉劑	長容器入／壜入	三十錢／十錢
ミツワ解熱錠	三十錠入／百錠入	十五錢／一圓
ミツワ祛痰錠	三十錠入／百錠入	十五錢／四十錢
ミツワ鎮靜錠	百錠入	一圓二十錢
ミツワ婦人湯藥	八十錠入	五十錢
ミツワ中風錠	百錠入	七十錢
ミツワ制酸錠	百五十錠入	二十錢
ミツワ鎮咳錠	百錠入	一圓五十錢
ミツワ點眼液	點眼器入	十錢
ミツワ鼻病液	壜入	二十五錢
ミツワ合嗽錠	百五十錠入	二十錢
ミツワ齒痛液	壜入	十五錢
ミツワ鎮痛液	壜入	三十錢
ミツワ硼酸錠	百五十錠入	二十錢
ミツワ撒布藥	紙盒入	十錢
ミツワ泥膏	硝子器入	十錢
ミツワ殺蟲液	壜入	十錢
ミツワ健膚液	壜入	三十錢
ミツワ養毛液	壜入	五十錢
ミツワ疵瘡膏	硝子器入	二十錢
ミツワ凍瘡藥	硝子器入	十五錢
ミツワ結核錠	百錠入	一圓五十錢
ミツワ治淋藥	カプセル五十個入	一圓五十錢
ミツワ婦人洗滌液	洗滌器附壜入	五十錢
ミツワ痔坐藥	六個入	三十錢
ミツワ婦人座藥	六個入	四十錢
ミツワ腋臭藥	壜入	二十錢
ミツワ頭瘡膏	硝子器入	二十錢

本舗
ミツワ石鹸
ミツワ椿油
規那鐵葡萄酒
ミツワ家庭藥
肝油ドロツプス
發賣元　（登録商號）
丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
電信略號〇ミヤ……振替口座東京七一〇番
營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

京城日報　第三版

四月廿八日（夕刊と合せて八頁）

發行所 京城日報社　印刷人 小川三之助

○支那軍事會議詳報
滿場一致參戰を可決す

二十五日開會せられし軍事會議の內容を詳報せんに會議は午前十一時開會各督軍及び其の代表者二十七名（前電二千五名とありしは誤聴）出席す會長段總理開會の辭を述べ支那の對獨宣戰は既に斷交の際に決心せるものにて是を實現せざれば列强の反感を招くべし若し支那が列强と伍して同様の地位に立たんとせば此際此政策を執るの必要ありと極論し次で宣戰後支那の受くべき利益の概要を述べ殊に反對意見を有する督軍連には熱心に之を力説勸誘を爲したり次ぎに江西督軍李純氏等主立ちたる軍界の重要人物が政府の計畫に同情を寄せざるは國家を毒するものなりとの言を冒頭に支那は傳來の孤立政策を捨て全世界と察接の關係接觸を爲すには目下絶好の機會なりと政府擁護の演説をなし更に數名の督軍又贊成演説をなし最後に投票を以て贊否を決し殆んど滿場一致を以て對獨宣戰を可決せり（北京電報）

○參戰後の諸問題協議

二十六日國務會議及び國際評議會開かれ二十五日の軍事會議の決議に據り宣戰と同時に起るべき問題及び聯合國援助の方法等に就き協議せり二十五日の軍事會議は概括的に對獨宣戰を贊成せるものにて交換條件の如きは研究せざりしと（北京電報）

○段總理の後任如何

段總理は愈々引退の準備中にして其後任は徐世昌氏か王士珍氏ならんと傳ふる者あり（北京電報）

○敵軍同盟罷業熾烈

羅馬來電＝獨墺兩國の同盟罷業は熾烈の度を加へ殆んど革命行爲に變ぜんとしつゝあり（香港電報）

○露軍隊代表者の滿足

露國司法大臣ケレンスキー氏は軍隊代表者の質問に答へて曰く『新政府第一の任務は國民の一致團結を確立するにあり政府、軍隊、勞働者との間には完全に意見の一致を見たり政府は國民の自由及び民主々義を擁護し憲法制定議會を解散し軍隊の活力及び露國の自由を保全すべき全權を委ねられ居れり勞働者は軍隊に對し時間外の勞働を爲し以て軍需品を供給せんとす』軍隊代表者は此の答辯に對し滿足の意を表せり（露都電報）

○戰亂終局は秋季か

倫敦に於ては今秋中に歐洲戰亂の終熄を告ぐべしと觀測しつゝあり（路透電報）

○獨帝衰弱恢復困難か

在米獨逸系銀行家に宛てたる獨逸よりの通信に依れば獨帝は最近數箇月間非常に健康を害し衰弱甚だしく恢復困難ならんと傳へられつゝあり（紐育電報）

○獨紙の戰爭繼續論

獨逸の各新聞紙は一齊に戰爭繼續を論じつゝあり（路透電報）

○在支米艦抑留通告

陸鎭冰提督は外交委員と共に二十六日上海駐在米國總領事サモンス氏を訪問し米國軍艦を抑留すべき訓令を受けたる旨を通告せり米國軍艦は恐らく二十七八兩日中に抑留さるべし（上海電報）

○瑞典の參戰示威運動

瑞典に於ては首府ストックホルムを中心とし參戰示威運動起れり（路透電報）

○救恤金御下賜

天皇、皇后兩陛下には去る八日長崎縣西彼杵郡神浦村假劇場出火多數死傷者を出せる慘事を聞し召され御救恤の爲め金四百圓御下賜相成たり（東京特電）

○政友會三政策

政友會は金融調節農村救濟問題及び選擧法改正の三政策を政綱とを以て議會に臨む可しと傳へらる（東京電報）

○三黨覺書復活

三浦觀樹子斡旋の下に成立せる原加藤犬養三黨首會商覺書を復活し國策の確立に資すべしとの議あり一面原總裁の三浦子訪問等の事あり近く之が實現を見るに至るべしと一般に觀測さる（東京電報）

○鐵道債募集條件

政府の內債募集條件決定せり即ち鐵道債券四千萬圓は五分利附十五箇年以內償還最低九十五圓とし是れが使途は二千萬圓を鐵道建設に殘り二千萬圓は公債償還費に充當するに決せり（東京電報）

○露都取引所開始

ペトログラード市取引所は本月二十七日より開始せり（露都電報）

○宇佐川中將勅選か

陸軍中將宇佐川一正氏は勅選議員に推薦さる可しとの說あり（東京電報）

○二木氏懲戒免官

去る十六日休職仰付られたる滋賀縣警察部長二木千年氏は文官懲戒令に依り本官を免ぜられたり（東京特電）

○交通次長密議

交通部赴日團王次長等は二十三日午前十時五十五分專車にて著京後直に交通部に到りて一切の經過を詳達し總長に報告し總長は直に電話を日本公使館に致したして王次長等が今次日本に赴き朝野の厚情に接したるに對し本總長は感激の至りに堪へず貴公使より貴國民に感謝の意を傳達せられ度き旨懇囑したり王次長は赴日の途上に於て目下大問題となれる津浦鐵道の購車、租車の兩案が輿論の爲めに攻擊せらるゝを聞き急遽歸京したるものにて著京の當日總長開催の午餐會に臨み撤宴後總長と密議を凝らす事多時更に同夜同黨等と總長私宅に赴きて深夜迄密議を重ねしと（京北）

○阪地鮮米商況

大阪に於ける鮮米の最近商況を聞くに對外貿易の旺盛なる爲め一般景氣の好調なるは自然的株式高と化し是等の余力は堂島期米の沈靜を許さず茲に於てか買聯合なるものを組織せらるゝに至れり扨て正米界に於ては產地は依然賣違り就中鮮米の如きは更に引合の餘地なく甚しきに至つては仁川玄米沖著値段十三圓七十錢市場相場十三圓三十錢、咸興沖著値段十三圓七十錢市場相場十三圓十錢隨つて新期移入を許さざるを以て在荷減退し相場も漸騰の餘儀なき狀態なり乍去元來割高なる鮮米なれば無暗に買進むものもなく要するに手堅き保合なり相場は

▲玄米 馬山改良十三圓八十錢▲釜山河口十三圓三十錢▲木浦上格十四圓五十錢▲下格十三圓八十錢▲群山日本種十三圓八十錢▲同神力十三圓六十錢▲仁川改良十三圓三十錢▲鎮南浦改良十三圓十錢

大豆は大玉相場の昇騰を見るに連れ各品とも是を唯一の材料に循環的に漸騰を見るに至れり然して元來在荷多からざる大豆なれば一般頗る強硬にして昨今兵阪商人の白兵戰を見る等時ならぬ異彩を呈せり、相場は

▲釜山川口十一圓二十五錢▲端川期肯十一圓二十錢▲慶山十一圓三十五錢▲元山幾上十一圓七十錢▲下十一圓三十錢▲長端十一圓六十錢

○土地提供交涉

仁川花町道路擴張に就きては目下請願委員に於て地主に對し土地寄附勸誘をなしつゝ有るが同町內に土地を有する堀氏は既に一身上の利害を抛ちて所要の土地を無償提供する事に決したるも友永氏は斷然寄附には應ずる事能はず三千圓ならば買收の交涉に應ず可しとて目下委員との間に折衝中道路新築も家屋土地を相當代價を以て買收せば直ちに應ず可しとて此又行悩みの姿なるが當局にては土地收容法を援用し強制的に收容するは面白からざれば出來得る限り委員との間に於て圓滿なる解決を望み居れるも萬一妥協成らず餘地無き時は斷然たる處置に出づ可しと此れに就き某氏曰く花町道路の擴張は當町の發展策上重大の意味を有する者にして現狀の如き狹隘不潔の狀態にては永久に町內の繁榮を望む事を得ざるは勿論通行上の不便を極めつゝ有るを以て益々町內の頽廢を招きつゝ有り、若し計畫通り道路の改修行はれなば自然町內の繁榮を來すと共に地價及び家賃の如きも騰貴するは瞭なる事實なれば此際地主が土地を無償提供するも將來に於て當然償ふて餘りある利益を生ずるに至る可しと云々と語れり（仁川）

○馬鈴薯甘藷配付（京畿）

道內昨年中に於ける馬鈴薯及び甘藷配付の狀況及び其の成績を聞くに馬鈴薯は配付人員總數五千四百九十六名配付數量一萬三百貫此の作付反別四百七十一反三畝步收穫高十三萬五千二百四十四貫にして反當收量は平均二百八十七貫、種貯藏量は一萬六千百六十一貫に達せり京畿道馬鈴薯の栽培は比較的有望にして配付數量に比し種貯藏量約五千八百貫を增加したるは大に心を強うするに足るべく、甘藷は苗配付人員六千四百三十二名苗配付數三百五十七萬四千五百二十九本此の作付反別九十二萬六千五百二十二反收穫高二十三萬六千八百八十九貫にして反當收量は平均二百五十六貫種藷貯藏人員二千七十八人貯藏量二萬一千八十四貫を算す

○京畿乳用牛種頭數（京畿）

道に於ける乳用牛種類は外國種牡六頭牝五十二頭計五十八頭、雜種牡十四頭牝百二十六頭計百四十頭、朝鮮種牡九頭牝三十三頭計四十二頭、總計二百四十頭にして外に種十箇所、朝鮮種四箇所計十四箇所の飼養場數を有せりと

○朝鮮通過苦力數

山東省苦力にして露國沿海州出稼の目的を以て海路山東省より仁川に上陸し新義州地方に赴けるものは本月一日二日

錢▲白川十一圓五十錢▲群山上十一圓十錢▲平壤十一圓十錢▲安東物十一圓四十錢より四月十五日迄二千八百十一人に達せり

○鮮銀券發行高

本月中旬朝鮮銀行券發行平均額は三千六百八十三萬六千六百八十圓にして內正貨準備發行額一千三百萬八千五百六十五圓、保證準備發行額二千三百八十二萬八千百十五圓なりと

人事消息

▲矢部長克氏（東北大學教授）二十七日夜入京
▲米國人魏克國一行二十名　同上朝鮮ホテルへ
▲小森元司氏（久原鑛業所長）　二十七日朝退京
▲野口多內氏（滿洲大興株式會社）　二十七日夜退京

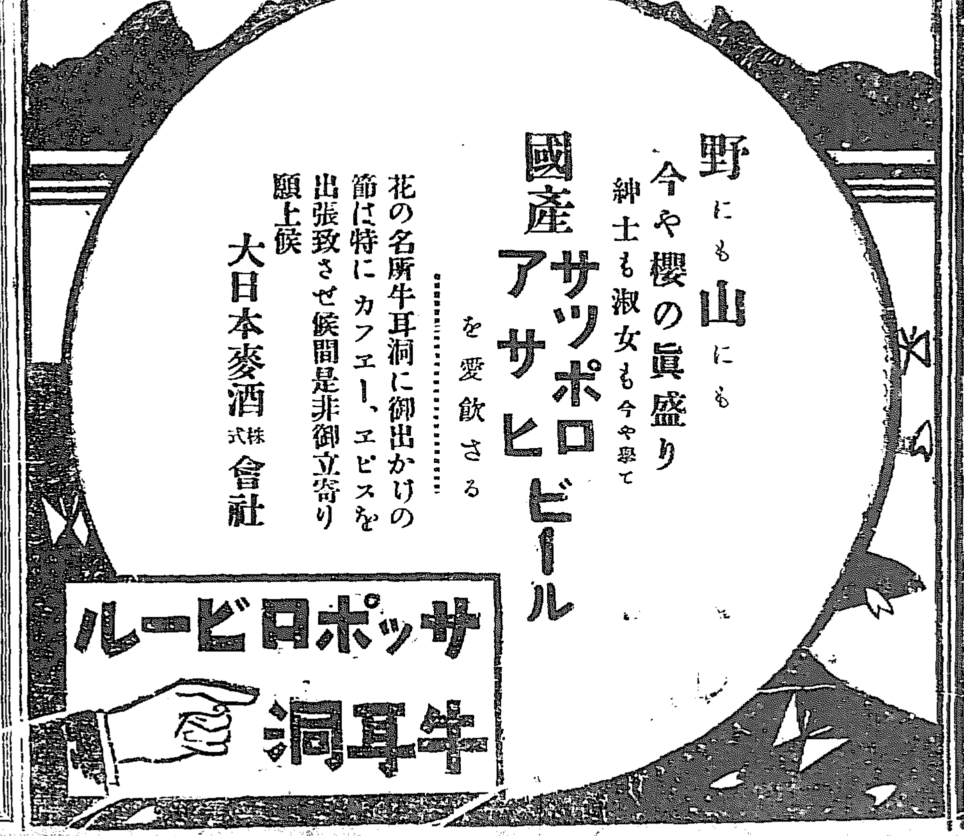
■南言北語■

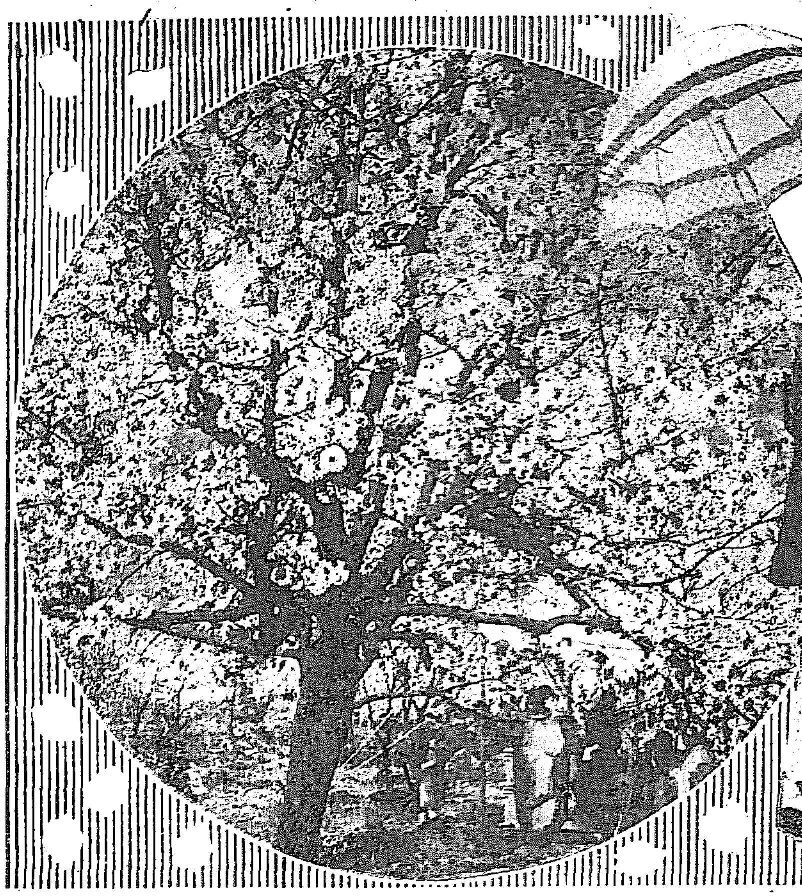
馮副總統と中原日報との喧嘩は此の間島渡書で觀たが日報は遂に傷害罪として公判に附せられた▲處が問題になつた記事の總統夢の一節にある馮狗と云ふ文字に就て日報の辯疏が面白い▲一體馮狗と云ふたつて侮辱にはならぬのみか却て敬語になるのだ▲元、來王龍、股虎、馮狗の稱は北洋軍中から傳つて決して日報の創造ではない▲況んや狗は春椎動物の中でも沈着猛毅で世人の重ずる所である▲倘し支那の歷史から云へば漢高は功臣を以て狗と云つた▲韓信は狡兎死して走狗烹らるるの喩へがある▲諸葛氏の三兄弟は玄龍虎狗の名がある時人相傳へて蜀は龍を得吳は虎を得魏は狗を得たと云ふ▲星學者は十二支の狗を配して戌に屬せしめ第十一列にして居る戌の年生れの者は皆狗に屬する▲文學家は馬羊虎狗を忠孝節義の獸と稱して居る狗たるもの決して世人の鄙棄する所でない▲之を人に當て做めたからとて何の名譽毀損になるか何にも苦にするには足らぬではないかと云つて居る▲流石は文學の國さでも申そうか▲尖はウンと新しい處で北京の社會で朱三小姐と云へば知らぬ人もない前內務總長朱啓鈐君の三番目の令孃だ▲處が此の小姐孃は芳川鎌子の先手位はお茶の子サイサイで勸まる人でお父さんが帝政運動で鳴らした頃は敗けず劣らず風流作詩を作つたものだ▲が此の名物女の嫁入後は一時北京も靜かであつたが及候廷某の令孃が第二世として飛び出し▲最新の洋服姿で神出鬼沒をやつて居るのに對して北京大學の不良連▲名付もしたり探艶團なるものを組織し趙孃を追跡して居るとは慾く▲之れが支那に流入した現代思潮の一斑だ相な恐ろしや〳〵

花　＝五の日十の日會＝

花見がへりボロ〳〵の飯食ふ　浮碧 櫻
堺の花盛り町挨越す　華 虹
花に眠ざとき逍足立ち　田 柿
市中は砂埃のはげし花見日　島 堂
船宿二三のみ江の落花かな　目 池

お花見と洋傘大賣出し
四月二十五日より五月一日まで向ふ七日間
正札より一割引
其他見切傘澤山
京城本町一丁目
電話四七番
まからんや洋傘部





花に行くと肩揚おろす春著かな

●咲いた咲いた 牛耳洞と加五里の櫻

京城の老いも若きも、男女が春を待つ樂しみの一つとして居つた牛耳洞と加五里の花が咲いた廿九日の日曜は今年の春のお花見に最好の時機である、此の日を外づしては今年の花の盛りに逢はぬ悔いを遺すであらう、往け牛耳洞に!! 加五里に、滿目の櫻花は壯裝ひを凝らして待つて居る、春は老い易く花は散り易い此の日曜の一刻は千金の値である

△溪流を挾んで咲く 牛耳洞の花

牛耳洞の花が咲いた、朝鮮吉野の稱ある牛耳洞は今や櫻の盛りに成つた、南山、御苑など市中の櫻、北吹雪して徂く春の名殘を惜しむ時、北漢山に綏靆く霞は麓野の牛耳洞に落ちて共處に彩紅繚亂たる花と化つたやうに川例年ながら

♣牛耳洞の花の美し♣さは其の自然にある、先づ入口の車轍場の邊りから案內顏に二三本づゝの櫻が路々咲いて行く、牛耳洞入口と標木の樹つて居る邊りから左手に北漢山右手に道峰山の奇峰を背景にした山懷ろの溪谷は、實の路の趣きに一面の櫻花である、清らかな流れに從つて進むと右手の山も左の谷も一面に花は咲き續いて居る、濃い萌黄色の柳は花の紅に交つて♣精巧な錦の幔を張♣り廻したやうである、ビールや櫻餅や甘酒や目鼻などを售る店が何れも花の木蔭に、色々の幕を打つた旅を樹てゝ居る、愈々進むで花の林の中に分け入ると、花の耀やきは日の光を綾なし、妙なる薫香は谷一杯に充ち浮かんで居る、牛耳洞の櫻樹は日本の櫻樹と其の姿を異にして梅の樹の如きもあり又は落葉松かとも思はるゝ形を成たるあり多くは棡、楢栗などの木と同じ形を爲て居る日本種の櫻のやうな優しい形が無い代りに又得も云はれぬ♣自然の趣に富んで♣居る日本種の樹は多く植栽したものであるが牛耳洞の花は全く自然生のの雜木が俄かに花を著けた趣である、或は美しく紅に輝く雪が雜木林を埋めたやうな野趣がある、牛耳洞の櫻は『深山木の其梢とも見ざりし櫻は♣花に顯はれにけり』♣と花が開いてから始めて櫻である事の判つたといふ古歌にあるやうな櫻の自然木が深林を成して居る、花の種類は何時とはなしに變化して今は四十幾種と云ふ花種があるから花見がてらに科學的に櫻を研究するのも興趣い深い事であらう。花は濃淡の種々あつて同じ濃紅の内にも十種以上も異た種類があり淡紅の內にも七八種の違つた色が有る此の外に淺黃櫻、純白櫻などもある♣芳香は多く白色櫻♣が持て居る、牛耳洞の溪流は今春降雨の少かつた爲め、流れがつて湍ら細いがしかしせゝらぐ水は岩間を走しかなる音に響を漲し淀んでは兩岸の花を映して居る、地には董翁草、野金盞花、倭生花菖蒲、白蠶などが♣梨地の如に咲き敷♣いて居る、花蔭の葭簀張りは微醺して花に吟詠するによし、妓生の七八人居る朝鮮料理の附近から道教會の某と云ふ邸の內外は老樹爛漫と咲き充ちて花の雲に包まれて居る心地がする此の邊が♣牛耳洞の中心とも♣稱すべき處であるが遺憾な事には餘り深山に腰掛け茶屋が出來て眞白に塗り立てた赤前垂が客を呼んで居るのが幾分風致を減殺して居る、牛耳洞に行く人は大抵此の邊から引還して終ふが更に左の方の谷間に分け入ると此の邊には例の腰掛茶屋は無く赤前垂も居らず花は外に知る人もなき♣山櫻が谷から谷へ♣雪山のやうに咲き群がつて居る牛耳洞の眞趣は實に玆に有る、此の溪谷の奧底に明ろくして咲く自然の眺めに有る更に左方の山に登つても右の谷に下りても花は何處までも咲き續いて行くのである

△雲の如く群り咲く 加五里の櫻

加五里の花も牛耳洞の花と同じやうに開いた加五里は牛耳洞に隣接した一溪谷地である其處に櫻の樹が多く在る事を從來知つて居つた者は少かつたが昨年木村某が紹介してから牛耳洞に次ぐ♣花の名所と♣なつた、加五里には牛耳洞に劣らぬ程に櫻の樹が有る牛耳洞の花は非常に廣い谷々に分れて居るが加五里の花は同じ所に集まつて居るから却つて♣牛耳洞よりも♣花が多いやうに思はれる位である加五里のは稻垣農園の中に在るから櫻は果樹園の畔などに咲いて中には梨、李、林檎などの花が咲いて居る故に之れまた♣一種の趣を♣添へて居る外にも牛耳洞と同じく夥しい掛茶屋が洒落つて居る、加五里の牛耳洞に見劣りのするのは花の下が畑に成つて居るから甚だしく自然の♣風致を殺い♣で居るされど目をあけて北漢山を見れば麓の花の雲を拔けて崢嶸と突立つて居る、朝日櫻と名付けた老樹も今は眞盛りと成つて東小門を出て自動車、腕車又は徒歩にて♣牛耳洞に向ふ♣人は是非加五里にも立寄つて同所の花を見てから更に牛耳洞の自然を味ふが好からう加五里から牛耳洞迄は僅かに半里足らずの道程である、汽車により♣倉洞驛に下車♣して牛耳洞の花を見やうと云ふ人は道が廣く平坦であるから先づ牛耳洞の花を見てから加五里の花を觀し再び牛耳洞に引返へし倉洞驛に歸るが便利である加五里にはのんき茶屋、北越堂、などの出店が有つて非常ビール洋食、果物、菓子等も京城と同じ値段で賣るとのことである

斯る愉快なる企ありや 本社主催 家族的大野遊會

纛島の花海を歩んで=大深林で閑古鳥を聞きつゝ=菩提樹の下でお辨當開き=近郊無二の奉恩寺=三春の行樂を一日に盡す

今年の花は一體に例年よりも早咲きの樣で北鮮は之れからなれども中和青龍驛附近の花は大抵此の二十九日の日曜が滿開で最う落花になる許りです水原からの花信も同じく此の日曜が眞ツ盛りだと云つて來ました其處で我社は兼て五月六日の日曜日に水原探勝の計畫を我愛讀者諸君に發表してありましたけれども六日の日曜は最早水原は落花も終り新綠に入るのですされど新綠を賞でんには未だ小々時期が早いのですから水原探勝は初夏に讓りまして

五月六日の日曜日には纛島で 家族的大野遊會

を催ほす事にしました纛島は御承知の通り電車の便も自動車の便もあります殊に模範場、東拓其他七十餘町歩の大果樹園の林檎は丁度六日の日曜が滿開で早からず後からぬ一番の見頃でありまして林檎の花は今年の春の殿りでして盡きぬ名殘の花の眺めを最後に皆さんに惜んで戴るのです

▩林檎の花!

林檎を高潔な花とし櫻を艶美な花とすれば林檎の花は幽艶とでも云はう美人のもの思ふ風情を昔から雨になやめる海棠と云ひますが之れは海棠の花の可憐な風情其處に得も云はれぬ詩的情趣が湧つて居るからでせう林檎の花は此の海棠の花と同じです林檎は矢張り海棠種でありますから異う筈はありませぬ殊に夫れが充分に發育せられてありますから花は非常に豐で且天稟の艶美を發揮して居る處は朝鮮櫻などの比ではありませぬ其の花が七十町歩に一面の滿開です全く花海青い春の大洋のゆたり〳〵して居る樣な極平和な綠の麥の波の上に白雲を浮べた樣な花の島が出來て居る處に京城近郊何處にありますか廣い道の側には土筆、たんぽぽ其の他種々の野花が咲き香つて居る大湖の樣な漢江の沿岸には新綠の古洲が見る目も遙かに擴がつて居る何と云ふ景色でせう其れから最一とつ纛島對岸の

▩奉恩寺

大きな二本の菩提樹のある寺花が咲いたら一と峯越えて迄も香を送る名木のある寺鈴蘭が咲いて閑古鳥の音も床しく聞ゆる大深林のある寺白董が咲き亂れて清香鼻を刺す寺何と好い景勝でせう寺の下へは舟にすれば誰人でも容易に清遊を恣にする事の出來る幽邃の地斯う云ふ名勝が京城近郊にあると事は餘り多く知つた人はありますまい纛島で花を眺めて此奉恩寺でお辨當でも開かうものなら正に陽春行樂の絶頂です孃ちやんも坊ちやんもお祖父樣もお祖母樣も入らつしやい詳細い事は追てお知らせします

四月二十九日より五月一日迄(三日間)三階に於て
高木背水畫伯
洋畫展覽會
近作品七十餘點展觀賣約に應じ申候
京城本町
三越呉服店

南大門龍山より 四月二十五日より五月六日まで
倉洞行往復切符發賣
三等 四十五錢 二等 八十錢
五枚以上の御申込に對しては南大門龍山より直ちに配達す

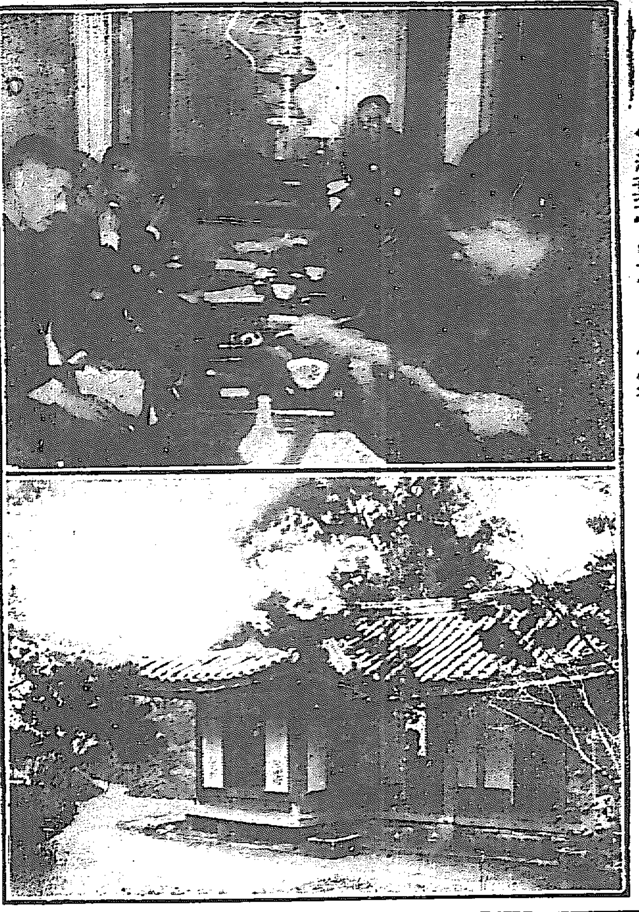
牛耳洞觀櫻臨時列車運轉
四月二十九日(日曜日)に限り南大門倉洞間に

ゆき 南大門發 午前八●四三 龍山發 同 八●五二 倉洞著 同 九●三〇
かへり 倉洞發 午後三●四〇 龍山著 同 四●一六 南大門著 同 四●二五

臨時列車は三等客車のみにして雨天の場合は中止

朝鮮總督府鐵道局

戶口三百九人其他の外國人二戶九人合
計戶數四千八百十八戶人口二萬四
事業は今春來南浦中村組
京谷氏は合
事に着手したるが同工場の建物は煉瓦造木造りの二種にして本年六月中旬迄には全部の竣工を見るべしと
豫定なりと▲各種會議開期　大正六年度に於て開かるべき平南各種會議は此程開期を豫定せるが最近に開
氏を推薦　本…朝鮮精業の主…者たる齋藤定偈氏は同社工場敷地豫定地實驗の爲め賀州
…中佐次郎、奧田延之助の四氏を選任せり▲生徒身體檢査　尋常小學校は廿五日尋常高等小學校は廿六日高等
…來月匆々整理調査に着手すべし▲學校組合會議　平壤學校組合にては大正五年度組合戶別割賦課に關する
…り補助さるべき平壤各普通學校補助額は第一普通四千六百餘圓第二回三千九百餘圓女子普通二千九百餘圓也
外一名は同洞の山中に掛けたる罠にて四月十二日約一頭を捕獲せり



◇紅葉亭に於ける俳筵＝椅子に倚れるが句佛上人＝

◉句佛上人歡迎俳句會

我社の主催せる清筵＝名園紅葉亭にて＝花下雨の中なる一夜の興趣陶々として盡きず

日毎老いゆく春に樹々の翠いとど深増さること、南山の麓、形ち面白ろの巖互いなるあたり、築庭三百年を經たといふ

△園の由來を誇る　かにそゝり立つ樅の古木に朝よりの春雨踈々として頻り降る二十七日の午後九時から南米倉町和田常市氏の別邸紅葉亭に於いて句佛上人留錫中の

△纔かなる慰めに　もと本社主唱して設けた俳筵を開く事となつた、集まる者は芳賀東山、小原鳥兎、青木靜軒、山口皐天、江口虎耳の諸氏の外此名區の主人和田京南氏及び本社の松尾目池、三好默萱の九人、豫ねて課されある

△『春雨』五句宛を　持ち寄てやがて見る『我れは我れなり』と斯界の一方に屹然として一境地を拓いた句佛上人の句風、さては權威ある俳話を聽く清興を思ひながら、待つ間程なく軍司令官の晩餐會からの歸途、折からの雨も厭はず、隨員にして亦京都

△懸葵派の牛耳を　執れる俳壇の先人沼夜濤、粟津水棹の兩子と共に來邸涼々の響を立てゝ流れる溪流に臨んで立つた沈流亭の軒先に影映し揺れる灯を便りに主人が差懸くる雨傘に身を屈めて庭石の幾階段を亭に入る、紅葉亭は

△花はらくと降りかゝる『人來る少くして客來る多し』と元の名園主橋山李祐元の記した碑石を前の一室見るからに雨の俳座の興をそゝる古雅にして然も清楚なる朝鮮風の建物であつた主客の間自ら一道の氣脈流れて改まつた月並の挨拶も無く、趣は亭の由來に發して

△朝鮮の風俗に移り　俳句に及び上人よく語り鳥巣長官、東山博士亦之れに和して興愈々加熱せんとするとき、持寄句の互選に移り先づ賓人側なる上人から始まつて順次に選句されたが有繋に上人の老練なる定めの作句五句は最も多く選に入つて最高點となつた、その中には當夜の

△俳筵の印象なそ　のまゝ即座に咏せられたものさへあつた、選五句の結果は別記の通り得點三點以上の句が目池氏によつて讀み上げられた、互選が濟めば又一としきり俳話などあり、やがて心利いた主人の注意で朝鮮料理の粋を拔いた神仙爐、松の實の練菓子、明太魚の刺身など

△俳味豐かな好物　あまた運ばれて小宴に入つたが、上人は何れも始めての是等のかずくに箸を取つて味はれた、かくて酒杯の動くごとに興ますく盡きず、撥を打つ滴の音一つ一つに夜の更けてゆくさへ忘れらるゝほどであつたがやがて

△慌だしき旅中の　一夜をゆくりなく句會に明すことの出來ぬを憾みながら夜濤、水棹の兩氏を隨がへて再び雨に濡れた敷石を傳つて下山、旅館に歸られたのは十一時過ぎ、明日退京といふ上人の爲めに春雨の名殘り降るかと思はれるやさしい春雨は庭前樅の樹立の間を點綴する

△花に落ちて靜か　なそして此の夜の深い憶ひ出を永なへに囁くやうに降つてゐた、終りに當日出席の筈だつた森安崖城博士が都合で缺席、兼題の句だけ寄せて來られたこと、亦京南主人が『宗祖御遠忌御親修後に雨降りて』と前置きして上人に呈したのは『遠忌果て法雨しめやかに暮るゝ春』の一句であつたことを記しておく

紅葉亭俳筵句錄

句佛上人
春雨めん金襖落花頻りなり
月餘降らんを除る花の色樹の綠
春雨にも長煙管負器に負
春雨にぬるゝもと練稚兒の母

○夜濤
宿なじむ春雨の大ぶりを
夢に見しよな春雨の樫仰ぐ

○水棹
春雨の洲に据はる舟燕見ぬ
春雨に硯干す旅あはたゞし

○京南
焚かずあり温突冷えて春雨の夕

○鳥兎
一向に雨愚く宵や深き春
春雨や紅謝す翁の家低き

○東山
草木綠に春雨そぼつ一と日かな

○崖城
瑪ぬれて馬士出もやらず春の雨

○目池
春雨の二日街の花白うなり
山花今よりぞ雨の歇む夜なる

○皐天
春雨に市日の酒幕淋しうす

○靜軒
野積煉瓦に色出でし春の雨
おくれ蒔きしが貝割れしたり春の雨

○虎耳
春雨に山亭暮るゝ鳥栖めり

○默萱
春雨に重たげな牛背の松葉
出溢れる春雨の朝を人の來ぬ

◉芳川鎌子夫人離縁さる

芳川鎌子夫人は夫寛治氏より離縁せられたり(東京特電)

◉小學生下級生に暴行を加ふ

山口縣豐浦郡河棚小學校高等科二年生二十一名は二十四日放課後一年生全部と尋常六年生の一部を附近の山に連れ行き上級生としての制裁なりとして眼に餘る暴行を演じ十二名の負傷者を出せり父兄は二十七日認識の結果校長の責任を問ふことゝせり(大阪特電)

◉小學生徒同級生を斬る

二十七日元山尋常高等小學校六年生佐古某と丹林某とが晝休み中校庭に於て遊戯中喧嘩を始め他の生徒等も常に有り勝ちな事とて左程氣にも止め居らざりしが兩人は格鬪の機みにや佐古は所持せる小刀を翳して丹林の臀部を目懸け突き刺したるに丹林は悲鳴を揚げしかば滲み出る血に佐古も初めて氣付きたるが附近に遊び居る子供等は教員室に走り込み此の由を報ずる等大騒ぎせしが丹林の負傷は極めて輕微なりと

◉若き人妻窃盜を働く

群山新興洞山下方に滯在中なりし原田靜子(二二)は一兩年前迄內地の某女學校に在學中卒業間際になつて不品行の結果退校處分となり原田某の妻となり本春實家たる前記山下方へ里返りをなし居たるが隣家高木菊次郎方の留守宅に忍び入り三月一日及び同月十日の二回に押入れ中に入れありたる柳行李の中より女お召羽織縮緬長襦袢の二點を拔き取り旅順三笠町の中島まつ宛送致したる事群山署の探知する所となり此程逮捕取調べの結果檢事局送りとなり窃盜罪により群山支廳にて懲役四箇月但し執行猶豫の處分となれり

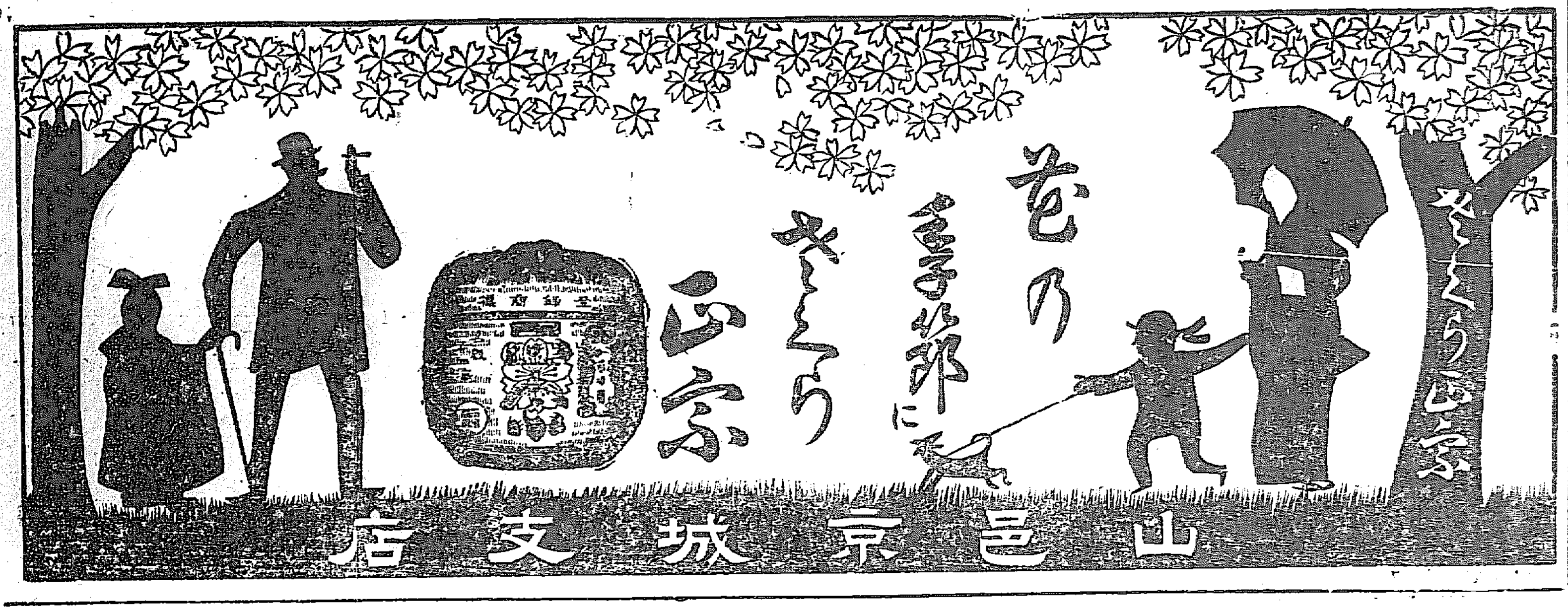
◉雨を待つ農民

平南地方粟播付時期に入る

粟は平南農作物中の大宗にして其作況如何は鮮人の購買力に甚しき影響を與へ居れるが過般來氣溫俄かに上昇せる爲め昨今漸く蒔付を爲す時期なるも頃日來降雨なく爲めに漸く時季に遲れんとするの虞あるを以て一般農家は憂慮し居れり(平壤)

◉醫生衛生講習

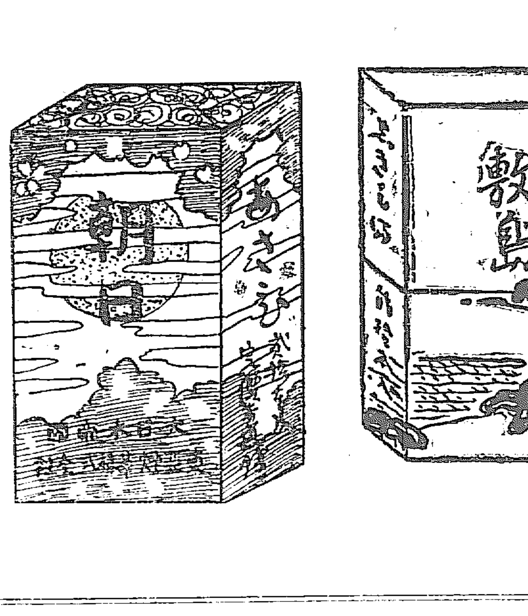
京城鍾路警察署にては管內居住の醫生全部百七十餘名を召集し四月三十日より十日間の豫定にて小野警部高橋警察醫講師として每日同署樓上にて衛生講習會を開くべしと



花見に必携の
魔法瓶

京城本町二丁目
熊平支店
電話長六二四番

お花見の御用意には
先づ何よりも



敷島　空袋　至急御持参被下度候

京城　東亞煙草株式會社

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百四十八

熱と氷と（二十九）の二

『お前は、確に絹さんに違ひない。』泥塗れの幸三郎は、再び斯う叫びながら、縁の上へ驅け上つたのである。而も猶、その心には、魅物か怪物かを疑ふらしき眼光鋭く、呼吸を殺して、机に突ッ俯したなりの絹代が、頸元の邊をば穴の明くほど凝視めた。

『絹さん、お前は豈夫にお化けぢやあるまいね？』

幸三郎が絹代をお化けと疑ふよりも、絹代の方が寧ろ幸三郎を、現の人間とは思つて居ないのであつた。

になんか滅多に人の入つて來るべき筈のない卵搭場の奥から、顔は異なに、衣服は泥塗れに、草履さへも穿かずに、よろめくやうな姿で立ち現はれた幸三郎の姿は、絹代ならずともそれをお化けと思はずに居られるものであらうか？絹代は、幸三郎が再び聲を掛けたのにも拘はらず、一心に只机へ噛り付いたぎりで、顫へながらに佛の御名を唱へて居るのであつた。

『絹さん、僕だよ倉橋幸三郎だよ顔を擡げて精く僕の顔を見て御覧！』

幸三郎は、是丈の事を言ふにさへも、咽喉が渇いて、舌の根が硬ばつて仕方がないので、絹代の側らに在つた水瓶を引寄せるが早いか、息をも繼かずに、水瓶の口から自分の口へ瀧の如くに注ぎ込んだのであつた。これで多少は精神も落着いたし、咽喉の苦しさも癒つて、人間らしい氣分が出て來たのである。幸三郎は、格鬪の爲めに搔き亂れたる衣服の襟などを直して、徐かに畳の上へ坐つた。

『絹さん、愕いたのも無理はないが幸三郎に間違ひないんだから、少時顔を擡げてお呉れ。』

言ひながら幸三郎は、絹代の机の上に眼を轉すと、女に相應しい水晶の珠數と觀音經が一卷淋しく置いてあるぎりであつた。藝術の上に熱心な割合には、宗教心に疎い幸三郎も、是を見た刹那ばかりは、不思議と良心の琴線に何物かと響いたやうな氣が爲た。左して教育と云ふほどの素養もない絹代が、怎麽にして佛陀に歸依する心などが起つたのであらうと云ふ疑ひも出て來た。

『絹さん、お前はまだ僕をお化けとでも疑つて恐れて居るんぢやないかね？』

重ねて、斯う言ひ聞かせながら、幸三郎は手を絹代の肩へ掛けて、靜かに〳〵顔を擡ぐるべく促したのであつた。

絹代は、漸くにして初めて、その蒼白い顔を擡げた。そして、幸三郎の尋常ならぬ疲れきつた姿をまじ〳〵と眺めた。

『お前、分つたらう。決して怪しい者でない事丈は分つたらう。』と、幸三郎は、繰返して安心を與ふるやうに言つた。

『……郎君、ぢッ、什うして此處に妾の居る事を御承知なんです。』

『承知して來たんぢやない。本統の偶然なんだよ。だから、お前が僕の姿を認めて驚いたのよりも、僕の方が百倍の驚きを以て、殆んど口も利けない程であつたのさ。』

『……でも阿兄さん、偶然と仰有つたッて、そんな事本統に爲る事は出來ないぢやありませんか。』

絹代は、飽まで疑ひの眼を以て、幸三郎を視て居た。戀人に遇つて、嬉しいと思ふ感じよりも、物の奇異過ぎるために、驚きと怖れとの心が消え去らぬのである。何だか天勝かなどの手品の種に自分の身體が使はれて居るやうな氣持さへ爲てならぬのであつた。

『恐らくは、お前が信仰して居る佛樣の……觀音樣の功力で、二人を引合はして下すつたのかも知れんね。』

『お前が怎麽に信じないと言つても、偶然の事は偶然に違ひないんだから……。』

『では矢張まだ郎君と妾との間に、繋つて居る縁の糸に、切り放されずに居たのでせうかね……？』

絹代は、又しても遥かに瞬ぎ込むやうな容子で、幸三郎の面をしけ〴〵と覗入つた。

『佛しだね、絹さん。偶然とは言ふもの丶、僕から言はせると、お前が此の寺に居たと云ふ事が、不思議でならないんだが、元來什うして此處へ來るやうになつたんだね。』

『阿兄さん……倉橋の阿兄さん、その事はもう聞いて下さらない方が好う御座いますわ。お話をする程、只涙と腹立とが增すばかりなんですから……それにね、阿兄さん、妾は什うなつても、現世では阿兄さんと添ひ遂げる事は出來ないものと斷念して了ひましたの。ですから、只今では只此の寺の方丈樣のお袖に縋つて、一生懸命佛の道を修行して居る所なんです。』

絹代は、心から現世の戀も情も果敢なみ盡くしたのであらう。斯う言つて只愁然と瞼を瞬たいて居るのであつた。

端午節句 笹卷柏餅賣出し 京城明治町通り 富 [illegible] 舗

大皷とお馬と 木村屋パンが うちの坊やのお友だち（京城明治町 電二八七番）

皮徽科 皮膚病 黴毒 淋病 膀胱 生殖器 機能障碍 入院隨意（診察夜九時迄） 日曜祭日午後二時迄 京城明治町二丁目（元町） 佐藤醫院（電話一一七三番）

商況

大阪期米（廿七日）

▲保合伸び惱む

▲の能く賣る

▲高能く買ふ

▲今の商内

▲現物界

[illegible]

二十七日の大月限

◇明るい氣分の花

米國女流聲樂家の眼に映じた櫻の花

此程觀光の爲め來朝した市俄古グランドオペラ專屬の女流聲樂家として又アルトで知られた雄大を以て歐米の樂界に重きをなして居る有名なレイル、ウエー會社総務部長夫人ワイニー、テベットは頻りに櫻花園の春を嘆賞して語るらく『妾は今度初めて年來の望が叶つて櫻の花を見ました、小學校に通學して居た頃から讀本や地理書などで日本櫻の美しい事は知つて居りましたが

♣親しく實物に接しますと寫眞や文字で知つたより更に一層美しいものには全く驚嘆しました若し出來るならこの儘ズット山水の優雅な繪のやうな日本に永住したいと熱々思つて居ます、なる程櫻花は明かるい感のする名花で見て居ますと何とも云ふことの出來ぬ程氣分の好い陽氣な花ですそれでサッパリした色彩を帶びて居る處が實に

♣衷心から好いと思ひます萬朶の櫻花が咲き誇つて居る風情は全く夢幻の裡に天國の花園を散步して居るやうで今にもエンゼルが花に戲むれて來はしないかと思へます此櫻花と相俟つて純美な日本風の家屋や風俗も長く保存したいと思ひます妾の目に映じた處を無遠慮に告白しますと日本では日常の食物が漸々歐化して行くやうです之は甚だ遺憾な事と痛切に感じました』云々

新刊紹介

▲發明雜誌特許彙報（三月號）六錢東京麹町三番町六一其社

▲小學生（五月號）十二錢東京芝區谷東エビス文發社

▲新家庭（五月號）三十錢東京芝公園地九玄文社

▲奉天商業會議所月報（四月號）非賣品奉天商業會議所

▲實業公論（四月號）十五錢東京神田仲猿樂町二三其社

▲美術之日本（四月號）十二錢東京々橋新肴町一三番美術院

▲法律學報（三月號）價不詳東京神田三崎町三の一帝國法律學社

▲實業之世界（四月號）十三錢東京麹町有樂町一の四其社

▲酒罐詰新報（創刊號）五錢東京々橋南佐柄木町七其社

▲電氣新聞（二五）五錢東京麹町區有樂町一の二其社

▲愛知縣商品陳列館報告（三月號）五錢名古屋市其館

▲經濟資料（四月號）二十五錢東京麹町下二番町六八外交時報出版部

▲婦人（五月號）二十錢東京京橋區元數寄屋町三の七白水社

▲海友（八週年記念號）英國と海上の支配權（米國博士）戰亂と大連の大變（高橋丹南）滿洲商後の海港運貨（西部遞信局）其他（十五錢大連市寺内通二丁目大連海務協會）

▲海國男兒（創刊號）宇佐彦翁氏主幹にして大海主義を標榜し歷史、産業、政策各方面より論じて海上飛躍を力說せり（二十錢東京麹町區内幸町一の五其社）

▲工業（四月號）鑄鋼術に就て香水の製入喫別法、藥用根物の話、機械玩具と工業教育其他工業に關する說多數輯（二十錢東京府荏原郡入新井村不入斗工業改良協會）

▲電氣界（四月號）支那其他東洋に於ける電機市場、赤血球の電解的製法、新發特許問題其他有益の記事多數（二十錢大阪北區北梅松町二六電界社）

▲現代之科學（四月號）生物學上より見たるベルグソンの哲學、出目金の眼の構造、原人時代と隔石其他依例興味あるもの滿載む（二十八錢東京府下澁谷二一五一戸直藏）

廣告

京日案内

▲申込の節は前金の事 ▲六回以上の御申込は特に割引 ▲郵便の御照會には必ず返信料を要す ▲數字の符號御記入を乞ふ

普通

◉店員二名入用 中島印刷所（電話二〇八番） 34

◉女中雇入 年齡十五六歲位一名 保證者又は本人直接來談あれ 京城旭町二ノ六三 内藤 32

◉看護婦數名至急募集す 但免狀有する者希望者は履歷書送れ 仁川仲町一丁目 看護婦會 34

▲古本回古樂器回買受と立替 電五毛 本町 ウツボヤ書店 振三三三 番外 964

◉朝鮮語科 英語科 新學期 三ヶ月修業 各級補缺 募集 京城靑年會 南大門通漢城銀行向ひ 12

店員募集 十六七歲の日本人を求む同業希望者は至急來談あれ 京城本町二丁目 嚴松堂書店 25

鑛物分析 各種 京城大平町二ノ二參三（電一八貳三） 29

◎礦物定量分析 坂元分析所 太平町二丁目 朝鮮公論社左横小路 電話長一三四四 960

恩給年金立替 即時取引 退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町（大正町向）元祖 博多屋本店 911

幸田豊君に告ぐ 直ぐ通信せよ 京城 志岐組 956

新古ミシン賣買 並に修繕 ●針油部分品販賣 京城鍾路二バゴダ公園近電二三八三 楠商店 961

◎はねつぎ うちみ くじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場 746

登記公告

地方金融組合登記公告

一、沙里院地方金融組合登記事項中出資總口數參百六拾四口、拂込ミタル出資ノ總額壹千貳百七拾六圓九拾九錢ト變更ス

一、金川地方金融組合登記事項中出資總口數貳百拾九口、拂込ミタル出資總額六百七拾六圓ト變更ス

一、遂安地方金融組合登記事項中出資總口數參百拾四口、拂込ミタル出資總額金壹千八拾貳圓五拾九錢ト變更ス

右大正六年四月貳拾五日登記

海州地方法院瑞興支廳

商業及地方金融組合登記公告

株式會社漢湖農工銀行第五回社債登記

社債ノ總額、金五拾萬圓各社債ノ金額金五百圓社債ノ利率年五分、償還ノ方法及期限、大正六年四月拾六日ヨリ參箇年据置キ以後九箇年間ニ毎年貳回（參月壹日九月一日）毎回金壹萬貳千五百圓以上ヲ償還スルモノトス各社債ニ付拂込ミタル金額金貳千五百圓

上地方金融組合登記事項中出資總口數參百四拾口、拂込ミタル出資總額ヲ金壹千六百九拾五圓六拾六錢ト變更ス

金化地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ參百九拾參口拂込ミタル出資總額金壹千八百四拾九圓ニ變更ス

伊川地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ五百九拾參口拂込ミタル出資ノ總額ヲ金七百貳拾四圓六拾九錢ト變更ス

鐵原地方金融組合登記事項中出資總口數ヲ參百拾八口拂込ミタル出資總額ヲ金壹千七百貳拾四圓六拾九錢ト變更ス

右大正六年四月貳拾參日登記

京城地方法院鐵原支廳

入札貸下

一、京畿道高陽郡延禧面所在一千五十九地（畓及田）參萬四千六百六拾坪

右貸付ス委細ハ四月二十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ

大正六年四月二十七日　朝鮮總督府

時計商 京城本町二丁目 正午堂 電話長三三番 振替京城三三七番

最新刊

書名	著者	定價
通俗史傳大西鄉全史	田中萬逸	二、〇〇
南洋遊記	鶴見祐輔	一、六〇
新聞年鑑	第一卷	八〇
最新研究株式投機	小林	二、五〇
パナマ運河と列國貿易競爭		一、五〇
文章の作り方		一、〇〇
書翰文大觀	月枝	九〇
美文紀行旅の書翰		六五
土木工學材料及施工法		一、〇〇
朝鮮之金鑛		一、〇〇
敎案中心算術敎授の實際家		一、二〇
第一囘第一編工業青年成功譚		五五
和英對照西諺小辭典		七〇
美學		二〇
エムデン秘史		八〇
草合	漱石	一、三〇
お夏文代		一、二〇
土俵京果集	京果	六五
獨習自在生花秘傳集		四五
基本編者用諸藝か古帖		四〇
さつくばらん		一、〇〇
江戸落語集	小泉	五八

運動具色々着荷致しました御用の節は早速御覧に入れます

大阪屋號書店

富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

質 大口歡迎 京城黃金町長橋町入 電話二九一六番 田村質店 商品擔保便利取扱

百圓進呈 りん病 ばい毒 特許藥 並二國 合法料八錢 二國 藥 並三國 大阪ドラッグ商會

帝國醫科大學院病 證言に於て當場配劑せる高音藥の醫藥學上最有効と確定、りん病藥主藥は治病劑とし梅毒藥主藥は驅梅内服藥とし其ることを保證す若し前述の分析料として百圓進呈 あらゆる治療を諦むる者も効あるを言責に角一度交讀あれ

にせ物あり 大阪有田 製を再販あれ

大阪ドラッグ商會 京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會朝鮮本部 釜山大倉町三丁目 元山本町三丁目 大阪ドラッグ商會

他の藥店ニ販賣を不許

京城 南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會 二店ノ外販賣ヲ不許

資本金 五百萬圓 頭取 安田善三郎

株式會社 百三十銀行京城支店 京城本町壹丁目 電話長五八番 一九四番 振替貯金京城一一三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

各種萬年筆即時修繕 京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料 石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、洗石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達

朝鮮肥料製造所 京城東大門外紅葉町 電話二六三五番

朝日石鹼製造所 京城岡崎町一四番地 電話二五六三四番 電話九七三番 振替京城〇〇四番

鑛山用測量諸器械 京城本町 シンサキ

内科 小兒科 外科 花柳病 ▲入院隨意 京城旭町一丁目一番地元中央婦人病院跡（朝鮮銀行前停留所より二分間） 酒井醫院 電話二五四一番

宮内省御買上品 原料香水 一番いゝ匂ひは廣い世界に只一つ オリヂナル 星の數程ある香水中 本舗東京 安藤井筒堂 代理店大阪 藤森源之助

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七九二〇九番

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千〇五拾五萬圓

株式會社第一銀行京城支店 京城本町二丁目（振替貯金京城一一番） 支配人 西村道彦

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候 内地滿鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候 明治火災保險株式會社代理店事務取扱申候

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 會下山丸 四月三十日午後入港 五月一日正午出帆

阿波共同汽船株式會社 本町四丁目（電話一七三番） 仁川代理店 野口商會 元山代理店（電話二四四七番） 田口商會 京城取次店 南大門（電話二六八、二〇一七） 河村運送店

大阪商船仁川出帆

○外航路所屬船は通信艦船を除く他は五分引を以て運賃割引致候

◉群山、木浦、釜山關門、神阪行 汕頭丸 四月廿八日 須磨丸 五月五日 後五時出帆

×◉門司、神戶、大阪行 汕頭丸 五月十三日 後二時出帆

◉釜山、鎭海行 濟州丸 五月三日 後二時出帆

◉木浦、釜山、濟原、雞の浦、大阪行 安東丸 五月二日 安東丸 五月二十日 後二時出帆

◉鎭南浦行 濟州丸 四月廿九日 汕頭丸 五月十日 後二時出帆

◉南浦、群山、神戶、大阪行 須磨丸 六日 後二時出帆

×◉大連直航 濟州丸 四月廿九日 正午出帆 安東丸 五月十五日 六月二日 後二時出帆

◉上海、基隆、打狗行（大連出帆） 湖北丸 五月十八日 基隆丸 五月三日 前六時出帆

◉安平丸 五月十一日 後十二時出帆

◉天津行（元山出帆） 宮島丸 四月廿九日 後十二時出

西湖津、新浦、城津、清津行（元山出帆）

御注意 ◉朝鮮沿岸航路及び東航路は...

切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番二二〇番五五八番 内地通運會社京城支店 電話七〇八番 朝鮮旅館 電話一六一番

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三番 京城松原運送店（電話長一七〇番）

○江原丸 五月十三日 ○京畿丸 五月四日 ○黃海丸 五月八日 ○成鏡丸 四月廿九日 門司より釜山各港寄港基隆航路 釜山發

○穩城丸 四月廿九日 ○昌平丸 四月 日 ○鏡城丸 五月三日 元山より各港浦鹽寄港行 元山發

○昌平丸 四月 日 元山發

○盛德丸 四月廿八日 甘浦、九龍浦、浦項各港寄港蔚山行 釜山發

○江陵丸 毎日 釜山發 ○襄陽丸 長生浦方魚津寄港 浦項發

○三浪丸 四月二十日 長承浦、巨文島、濟州各港寄港 釜山發

○海州丸 ○巨濟丸 ○新營丸 ○慶讚丸 毎日 釜山發

○平壤丸 五月四日 九山發

○順天丸 三日目毎ニ 木浦發

○慶興丸 四月 日 木浦發

○慶興丸 五月三日 木浦發

○公州丸 四月廿八日 木浦發

○麗水丸 五月四日 ○晉州丸 四月 日 仁川發

○宗信丸 五月一日 仁川發

○江原丸 四月 日 仁川發

○全南丸 ○咸陽丸 毎日午前 仁川發